

|        |       |  |      |                                |              |                                     |
|--------|-------|--|------|--------------------------------|--------------|-------------------------------------|
| 事務事業名  |       | 雲南市飯南町事務組合負担金(CATV事業)                                | 所属部  | 政策企画部                          | 所属課          | 広報広聴課                               |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 広報広聴G                          | 課長名          | 細木 皇宏                               |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 山中 亜希子                         | 電話番号         | 0854-40-1015<br>(内線) 2331           |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 予算科目 | 会計 011001<br>款 1001<br>目 55529 | 大事業名<br>中事業名 | 情報通信総務管理事業<br>雲南市飯南町事務組合負担金(CATV事業) |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民  | 効率的な運営を行い、市民に地域の情報(自主番組等)、行政情報等を届ける。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )               | 雲南市及び飯南町における有線テレビジョン放送の効率的な運営を図るため、雲南市・飯南町事務組合を設置し、施設の設置及び維持管理並びに運営について、共同処理を行なっている。  |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>CATV事業は、木次局、飯南局の2局体制で実施。(中継所は大東、掛合の2中継所)<br>①市政及び地域情報番組の制作放送 ②テレビ、ラジオの再送信 ③音声告知放送 ④データ放送・文字放送<br>【主な事業実績】<br>・伝送路施設設備の維持管理・データ放送システム更新他 | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>・市町村合併により事務組合に統合<br>・3局の制作、放送業務を木次局に集約<br>・チャンネル構成、CS放送の一元化<br>・ケーブルテレビ、文字放送使用料の統一<br>・音声告知放送、文字放送の一元化<br>・データ放送の導入、INTの一元化と増速・FTTH整備完了 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標             | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 加入者件数(全体)      | 件  | 12,137   | 12,003   | 11,944   | 11,900   |
| イ 加入者件数(事業者等を除く) | 件  | 11,575   | 11,452   | 11,395   | 11,350   |
| ウ インターネット契約件数    | 件  | 3,544    | 3,535    | 3,584    | 3,650    |
| エ 音声告知放送端末設置世帯   | 世帯 | 14,041   | 12,415   | 12,324   | 12,300   |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移                            | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|-------------------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 負担金129,494千円<br>(内訳)議会総務費25,590、共同事業23,325、番組制作8,243、告知放送運営23,217、アドバイザー人件費3,295、派遣職員人件費8,480、データ放送運営594、4Kノンリニア編集機更新2,093、4K対応ENG取材用カメラ購入6,374、音声告知放送センター設備更新22,880 他5,403【地方債】過疎債 | 国庫支出金<br>県支出金<br>地方債<br>その他<br>一般財源 | 千円 |          |          |          |          |
|   | 事業費計                                | 千円 | 69,530   | 77,643   | 97,494   | 98,583   |
|   |                                     | 千円 | 78,130   | 95,543   | 129,494  | 123,183  |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 市内に多く点在していた難視聴地域の解消に大きく寄与しており、市民が等しくテレビやインターネットを通じて情報取得することができている。また、市内小中学校へ光ケーブルの専用回線(GIGAスクール)が接続され、ICTを活用した教育環境が整った。さらにR5年度にはFTTH整備事業が完了し、市内全域で光ケーブルによる高速インターネットを利用することが可能となった。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | テレビ加入世帯の減少、インターネット事業他社との競合、事務組合運営の効率化などの課題がある。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 運営の効率化については、番組制作業務を木次局に集約するなど、経費の縮減に努めてきており、今後も取り組みを継続していく必要がある。また、今後の事務組合のあり方について、事務組合、飯南町も交え検討を行う。FTTH整備が完了し、インターネット加入促進のためのCM放送、FTTH整備解説番組の制作、加入手続き利便性向上など加入者増に向けた取り組みを引き続き行う。  |

|        |       |  |      |                                   |      |                                   |
|--------|-------|--|------|-----------------------------------|------|-----------------------------------|
| 事務事業名  |       | 空き家再生アドバイザー招へい事業                               | 所属部  | 政策企画部                             | 所属課  | うんなん暮らし推進課                        |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)            | 所属G  | 定住G                               | 課長名  | 佐藤 尚子                             |
|        | 基本方針  | <006>空き家や遊休農地など未利用の地域資源の活用を促進し、地域の活力維持に取り組みます。 | 担当者名 | 門脇 和也                             | 電話番号 | 0854-40-1014<br>(内線) 2324         |
|        | 重点テーマ | <0006>空き家や未利用農地・山林等を活用する仕組みの構築                 | 予算科目 | 会計 0 1 1 0 0 3<br>項 目 0 5 6 5 2 3 | 大事業名 | 定住対策促進事業<br>中事業名 空き家再生アドバイザー招へい事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 空き家対策に取り組む地域自主組織  | 移住定住促進、空き家の利活用促進  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) | 市内の空き家が年々増加する中で、総務省が推奨する外部の専門家(地域力創造アドバイザー)を招へいし、空き家の利活用等の課題について、助言・指導をいただく。市内の空き家対策に取り組む地域自主組織に対して、セミナーやフィールドワーク等を実施し、地域内の空き家再生事業のコーディネートをおこなう。年度内延べ10日以上または5回以上の招へい |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・三新塔地区(空き家再生プロジェクト会議) 3回</li> <li>・地域自主組織取組事例共有会 1回</li> <li>・空き家に関する取組みの座談会 1回</li> </ul>                   | R5年度からの取組み  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標          | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|---------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 地域自主組織取組み支援 | 回  | -        | 8.0      | 7.0      | -        |
| イ             |    |          |          |          |          |
| ウ             |    |          |          |          |          |
| エ             |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 謝礼金 1,000千円       | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|                   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|                   | 地方債      | 千円 |          |          |          |          |
|                   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|                   | 一般財源     | 千円 |          | 1,496    | 1,000    | 0        |
|                   | 事業費計     | 千円 | 0        | 1,496    | 1,000    | 0        |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 三新塔地区で6年前より立ち上げられた「空き家再生プロジェクト会議」において、アドバイザーが取組みにおける事例紹介やアドバイス、講師紹介など行った。また、あらたな取組みとして、地域自主組織を中心とした空き家に関する取組みの事例共有会や、取組みの先進地から講師を招き勉強会を開催するなど、広く周知を行った。                   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 空き家に関わる課題は大きくなっており、行政としての取組み支援が求められているが、空き家は個人資産であり、直接的な支援が困難であることから、啓発や情報提供などにとどまっている。また、空き家所有者だけでなく、市民が自分ごととして考えていけるような気運醸成の必要があり、地域自主組織単位での取組み支援を行っているが、取組みが進まない状況がある。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 次年度については、地域おこし協力隊が行う地域活動支援のほか、NPO法人が主体となる、移住者の暮らしのニーズに合わせた住まいの確保を目的とするプラットフォームの立ち上げや専門家によるネットワーク形成、空き家所有者等のための寄付の仕組みの構築との連携を図る。   |

|        |       |  |      |  |      |                           |
|--------|-------|--|------|--|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 生活路線バス対策事業   | 所属部  | 政策企画部  | 所属課  | 交通政策室                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 交通政策グループ   | 課長名  | 室長 加藤健一                   |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 丹波鉄也   | 電話番号 | 0854-40-1014<br>(内線) 2323 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 予算科目 | 会計 011001<br>款 10<br>目 57567<br>中事業名 公共交通総務管理事業<br>中事業名 バス運行対策費補助金 |      |                           |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民<br>路線バス利用者  | 運行費用の一部を市が負担することにより民間バス路線を維持確保し、市内外への移動手段を確保する。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度<br>( 年度 ~ 年度 ) | 一畑バス:生活交通路線として維持・確保が必要と認められた路線に対し補助金(国・県・市町村)を交付する。<br>飯南町:中国横断自動車道尾道松江線開通に伴う高速バス飯南町地内不通過に対応した代替輸送手段として運行している飯南町営バスへの負担金。             |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| (一畑バス) 対象路線 大東線<br>平日:14便(7往復) 土日祝:12便(6往復)<br>(飯南町) 対象路線 赤名吉田線<br>平日、土日祝:9便(4.5往復)  | 運行実績・要望を踏まえ、運行路線や運行時間等について改善を図っている。(一畑バス)運転手不足から路線廃止の方針が出されR6.10から雲南市民バスとして路線を引き継ぐこととなった。(飯南町)地域からの要望を受け、谷・赤名・頓原線1便の始点を「恩谷バス停」まで延長した。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標           | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 一畑バス大東線:利用者数 | 人  | 52,721   | 45,283   | 34,891   | 路線廃止     |
| イ 飯南町:利用者数     | 人  | 9,510    | 8,691    | 7,399    | 9,000    |
| ウ              |    |          |          |          |          |
| エ              |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位     | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 一畑バス(株)「大東線」の運行補助金<br>19,116千円<br>※令和6年度で終了。<br>飯南町「赤名吉田線」「谷・赤名・頓原線」の運行負担金<br>4,766千円 | 国庫支出金    | 千円     |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円     | 1,165    | 522      | 540      | 486      |
|   | 地方債      | 千円     |          |          |          |          |
|   | その他      | 千円     |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円     | 9,777    | 13,456   | 23,342   | 3,180    |
| 事業費計  | 千円       | 10,942 | 13,978   | 23,882   | 3,666    |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 市が運行費用の一部を負担することで、路線維持ができ、市民の広域移動が可能となっている。利用者の増加を図ることを目的とした利用促進PRの実施、利用者満足度を向上させるため、利便性(ルート・時間帯)の高い運行形態への見直しを要望している。        |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 飯南町が運行主体として行っている路線であるが、市民生活を維持していく上で必要不可欠な路線である。今後も市の支援により路線を維持・確保しなければならない。実際に運行する中で、市民要望も踏まえ、運行路線や運行時間等について、改善を図っていく必要がある。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 飯南町生活路線バスについて、運行を現状どおり維持してもらうことが前提にあるが、負担金の削減を図るためには、飯南町と雲南市で経常収益が増加するよう、利用促進を図る必要がある。今後も運行状況を検証しながら次年度以降の取り組みへ反映させていく。      |

|        |       |  |      |   |      |                           |
|--------|-------|--|------|---|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 市民バス運行管理事業   | 所属部  | 政策企画部                                       | 所属課  | 交通政策室                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 交通政策グループ                                    | 課長名  | 室長 加藤健一                   |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 丹波鉄也  | 電話番号 | 0854-40-1014<br>(内線) 2323 |
|        | 重点テーマ | <0004>地域の移動・交通システムの再構築                               | 予算科目 | 会計 011002<br>款 11002<br>目 11003<br>項 057503 | 大事業名 | 公共交通対策事業<br>中事業名 市民バス運行事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民<br>市民バス利用者  | 市内での移動(通院・通学・買い物等)を快適、円滑にできる。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度<br>( 年度 ~ 年度 ) | 市民の交通手段の確保を図り、公共の福祉の増進に資するため、道路運送法第78・79条の規定により市町村運営有償運送バスを運行する事業。  |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| 市民バスの運行及び車両・施設管理<br>再編実施の推進、バスター一元化システム保守、一畑バス大東線代替交通の運行開始<br>(主な見直し)<br>・再編実施計画に基づく市民バス等の見直し  | 利用が少ない路線についての便数、ダイヤの見直し・デマンドタクシーへの移行検討。広域バスと地域バスの接続改善。事務の効率化のため、バス管理システムの構築、業務の外部委託を検討。主な利用者である高校生の通学利便性の向上、高齢者の通院・買い物利便性向上につながる運行の見直し。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                        | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 広域バス利用者数                  | 人  | 52,523   | 54,015   | 57,805   | 58,000   |
| イ 地域バス利用者数<br>(だんだんタクシーは除く) | 人  | 81,389   | 78,075   | 83,956   | 90,000   |
| ウ 市内の公共交通サービス機関に満足している市民の割合 | %  | 53       | 52       | 49       | 53       |
| エ                           |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【市民バス運行事業】計189,797千円<br>車両等修繕費 19,752千円<br>運行管理委託料 157,220千円<br>業務委託費 5,662千円(再編実施推進業務、市民バス情報一元化システム保守業務、バストップ清掃等業務、一畑バス大東線代替交通検討支援業務)<br>その他経費 7,163千円 | 財源内訳     | 千円 | 1,877    | 1,151    | 1,376    | 1,800    |
|   | 国庫支出金    | 千円 | 10,055   | 8,712    | 16,331   | 8,038    |
|   | 県支出金     | 千円 | 0        |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 | 13,607   | 13,544   | 19,949   | 22,674   |
|   | その他      | 千円 | 137,387  | 147,874  | 152,141  | 152,345  |
|   | 一般財源     | 千円 | 162,926  | 171,281  | 189,797  | 184,857  |
|   | 事業費計     | 千円 |          |          |          |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 利用者や運行会社へのヒアリングを実施し、運行形態やルート・便数・時間帯など市民バス運行の見直しを行っている。より効果的効率的な運行を図り、利便性を維持向上させている。一畑バス大東線の路線廃止を受け、令和6年10月から市民バス大東松江乃木線の運行を開始し、令和6年度は6,576人(R6.10~R7.3)にご利用いただいた。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 人口減少・少子高齢化が進む中、交通弱者の生活基盤となる移動手段を確保し、継続的な市民バス運行を行っていく必要があるため、当該事業は適切である。ただし、引き続き利便性向上を図る必要がある。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 交通弱者の移動手段を確保し、地域にとって望ましい持続可能な公共交通を目指し、運行形態の見直しも含めて引き続き交通再編に向けて検討を進めていく。   |

|        |       |  |      |                        |                  |                    |
|--------|-------|--|------|------------------------|------------------|--------------------|
| 事務事業名  |       | だんだんタクシー運行事業   | 所属部  | 政策企画部                  | 所属課              | 交通政策室              |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 交通政策グループ               | 課長名              | 室長 加藤健一            |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 加藤健一                   | 電話番号             | 0854-40-1014       |
|        | 重点テーマ | <0004>地域の移動・交通システムの再構築                               |      | (内線)                   | 2323             |                    |
|        |       |  | 予算科目 | 会計 011002<br>科目 057505 | 大事業名<br>公共交通対策事業 | 中事業名<br>だんだんタクシー事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民   | 大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、掛合町エリアで利便性が高く、円滑な移動ができる。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )                          | デマンド型乗合タクシー運行事業。運行をタクシー事業者への委託により実施。通称「だんだんタクシー」<br>住民の移動手段確保を目的とする。  |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| 【大東町】5 路線 [春殖幡屋線(4便)海潮線(4便)佐世線(4便)阿用久野線(5便)塩田線(5便)] 【加茂町】1 路線 [加茂線(4便)]<br>【木次町】2 路線 [西日登線(5便)日登線(5便)] 【三刀屋町】3 路線 [鍋山線(4便)飯石中野線(4便)高窪伊萱線(4便)] 【掛合町】2 路線 [北部線(10便)南部線(10便)] | 導入に際しては、1年間程度の実証運行後、本格運行判断基準に基づき本格運行への移行を図ってきており、平成30年度に市内全域で本格運行を開始した。今後、各種計画に基づき、利便性向上と効率的な路線再編の両立を図るため、公共交通全体の見直しを行っていく。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標   | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 利用者数 | 人  | 25,194   | 26,505   | 25,421   | 28,000   |
| イ      |    |          |          |          |          |
| ウ      |    |          |          |          |          |
| エ      |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|   |          |    |          |          |          |          |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ① 事業費の内訳(R6年度決算)                                  | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
| 【だんだんタクシー事業】<br>・委託料 66,693千円(運行业務)<br>計 66,693千円 | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円 | 9,043    | 7,778    | 6,944    | 7,973    |
|   | 地方債      | 千円 |          |          |          |          |
|   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円 | 51,527   | 54,640   | 59,749   | 60,528   |
|   | 事業費計     | 千円 | 60,570   | 62,418   | 66,693   | 68,501   |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 現在、市全域にてデマンド型乗合タクシー「だんだんタクシー」の本格運行が行われている。その利便性の高さから利用者からは好評である。  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | より利便性を向上させるため、他の交通機関(市民バス・JR・民間路線バス)との接続を改善する必要がある。また、利用する世代や対象が限定的でもあり、だんだんタクシーの利用方法も含め、広く広報することで新たな利用者(市民・旅行者)の獲得が課題である。乗合タクシー全般の課題でもあるが、目的地まで時間がかかる、運行エリアや時間帯が限定的であり、運行時間等に自分の生活スタイルを合わせる必要があり、理解が必要である。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | これまで、『雲南市地域公共交通総合連携計画(平成20年度策定)』、『雲南市公共交通再編計画(平成23年度策定)』、『雲南市地域公共交通網形成計画(令和元年度策定)』、『雲南市地域公共交通再編実施計画(令和2年度策定)』に基づき事業展開してきた。しかしながら、利用者減少路線もあることから、限られた予算の中でより住民ニーズに合う事業の在り方について検討する。※令和7年度より、次期交通計画策定作業を実施予定。 |

|        |       |  |      |                         |      |                           |
|--------|-------|--|------|-------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 市民バス整備事業   | 所属部  | 政策企画部                   | 所属課  | 交通政策室                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 交通政策グループ                | 課長名  | 室長 加藤健一                   |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 丹波鉄也                    | 電話番号 | 0854-40-1014<br>(内線) 2323 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 予算科目 | 会計 011002<br>項 目 057509 | 大事業名 | 公共交通対策事業                  |
|        |       |  |      |                         | 中事業名 | 市民バス整備事業                  |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 老朽化したバス車両   | 安全で計画的な運行を行うことができる車両に更新される。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H23 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | 雲南市民バス事業を継続的に安全に行うために、計画的に車両の更新を行う。<br>(目安は、車両年数が12年(過疎対策事業償還年数)を超過あるいは走行距離が50万キロでの更新が望ましい)<br>また、バス車庫などの施設整備を行う。  |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>・マイクロバス29人乗り 2台購入   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>車両更新について、冬季にも対応できるよう、マイクロ及び小型バスは4WD車両で更新している。各路線の利用状況を把握し、ダウンサイジングを図るなど適正な車両サイズになるよう努める。<br>また、バス車庫などの整備も必要に応じて実施している。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標            | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 10年経過車両数(更新後) | 台  | 5        | 4        | 5        | 7        |
| イ 15年経過車両数(更新後) | 台  | 4        | 4        | 4        | 4        |
| ウ               |    |          |          |          |          |
| エ               |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 合計 30,651千円       | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
| 財源: 過疎債           | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
| 手数料 358千円         | 地方債      | 千円 | 23,300   | 23,000   | 28,600   | 31,700   |
| 自賠償保険料 36千円       | その他      | 千円 |          |          |          | 756      |
| 車両購入費 30,226千円    | 一般財源     | 千円 | 2,165    | 1,046    | 2,051    | 874      |
| 公課費 31千円          | 事業費計     | 千円 | 25,465   | 24,046   | 30,651   | 33,330   |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 大東松江乃木線の運行開始に伴い、令和6年度から市民バスの保有台数が2台増車し、30台となった。更新の目安となる車齢が12年に近づいている車両や更新の目安を超過している購入後15年以上経過した車両も複数台ある。安全運行の観点からも年次の計画的にバス車両を更新する必要がある。計画的な車両の更新に伴い、修繕費の抑制にもつなげていきたい。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 計画的な車両の更新を進めているが、購入後10年以上経過し走行距離も30万キロ~50万キロ以上となっている車両も複数台存在する。適切な修繕等を行い安全運行に細心の注意をはらっているが、今後、修繕では効かない故障の発生も懸念されるので、計画的な更新が必要である。                                      |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 車両の適正台数や車両規模を考慮し、より計画的な車両更新を実施していく。  |

|        |       |                                     |      |                  |      |                                  |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------|------|----------------------------------|
| 事務事業名  |       | 戸籍事務                                | 所属部  | 市民環境部            | 所属課  | 市民生活課                            |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 市民グループ           | 課長名  | 宇田川康司                            |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 岩田美幸             | 電話番号 | 0854-40-1031<br>(内線) 2112        |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 011002<br>150501 | 大事業名 | 戸籍住民基本台帳事業<br>中事業名<br>戸籍住民基本台帳事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 雲南市に本籍を有する者<br>雲南市に戸籍届書を提出する人  | 正確かつ迅速な戸籍届書の処理により、戸籍証明の交付が受けられる。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度<br>( 年度～ 年度 ) | 地方自治法(昭和22年法律第67号)第2条第9項第1号に規定する第1号法定受託事務。日本国民の国籍及び親族的身分関係を登録・公証するもの。<br>① 出生から死亡まで戸籍届書の受付・審査 ② 戸籍に関する証明発行<br>③ 受理決定した戸籍届書に基づく戸籍の記載(本庁のみ) |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| 戸籍届書の審査及び受理、戸籍に関する証明発行<br>【本庁業務】戸籍・附票の記載、法務局等への各種報告<br>【R6年3月: 戸籍事務内連携開始以降】<br>戸籍の広域交付、届書情報連携、報告物の電子化  | 5年毎にシステム更改。(令和6年度よりクラウド環境へ移行)<br>平成25年7月に戸籍副本のデータ連携実施<br>令和6年3月に戸籍事務内連携開始(戸籍の広域化)   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 戸籍届出件数 | 件  | 2,007    | 2,089    | 1,939    | 7,000    |
| イ 本籍数    | 戸籍 | 22,343   | 22,044   | 21,748   | 21,700   |
| ウ        |    |          |          |          |          |
| エ        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 振り仮名法改正対応システム改修費<br>6,072千円(繰越予算)<br>1,177千円(現年予算)<br>標準化システム改修 11,022千円<br>機器リース 6,855千円<br>システム保守 2,236千円<br>システム使用料 2,688千円<br>その他 3,740千円 | 財源内訳     | 千円 | 7,239    | 379      | 18,599   | 17,415   |
|   | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 |          |          |          |          |
|   | その他      | 千円 | 9,387    | 8,305    | 8,089    | 9,218    |
|   | 一般財源     | 千円 | 5,575    | 5,720    | 7,102    | 5,828    |
|   | 事業費計     | 千円 | 22,201   | 14,404   | 33,790   | 32,461   |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 戸籍は身分等を公証するものとして慎重かつ正確な処理が求められ、法務局へ確認など適正に処理している。マイナンバーカード所持者へは、「現在戸籍」のみコンビニでの証明発行を可能としている。顔写真付の本人確認書類の提示があれば、本人等請求(直系親族)の範囲で広域交付が可能となった。自庁の公用請求に対して広域交付が可能となった。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 法改正(民法、社会保障番号制度・デジタル対応等)のため業務対応変更の過渡期である。副本データによる戸籍情報連携開始により、事務運用が大きく変更となったため、職員間での情報共有・システム操作の習熟が必要となる。職員の戸籍に関する知識および経験値不足と、システムトラブルにより処理に時間がかかる場合もある。          |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 法務局への照会や研修会の参加による知識の習得<br>国からの連携システムエラー改修等の対応周知<br>庁内情報系端末(ライブラリ等)での職員間での情報共有  |

|        |                 |  |       |  |       |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
|--------|-----------------|--|-------|--|-------|--------------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|-----|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名  | マイナンバーカード普及推進事業 | 所属部  | 市民環境部 | 所属課  | 市民生活課 |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
| 総合計画体系 | 施策名             | (02)どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G   | 生活グループ   | 課長名   | 宇田川 康司       |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
|        | 基本方針            | (004)どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名  | 今岡 博美  | 電話番号  | 0854-40-1031 |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
|        | 重点テーマ           | 重点テーマ外   |       |  | (内線)  | 2121         |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
|        |                 |  | 予算科目  | <table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小事業</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table> | 会計    | 0            | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 款 |  |  |  |  |  |  | 大事業 |  |  |  |  |  |  | 中事業 |  |  |  |  |  |  | 小事業 | 1 | 5 | 0 | 5 | 0 | 1 |
| 会計     | 0               | 1  | 1     | 0  | 0     | 5            |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
| 款      |                 |  |       |  |       |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
| 大事業    |                 |  |       |  |       |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
| 中事業    |                 |  |       |  |       |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |
| 小事業    | 1               | 5  | 0     | 5  | 0     | 1            |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |     |   |   |   |   |   |   |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市民  | 本人確認のための身分証明書利用のほか、各種行政サービスの利用が可能となる。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H26 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、公平・公正で各種行政事務の効率化を図る目的で、マイナンバー(個人番号)を付番する。平成27年10月よりマイナンバーを通知し、平成28年1月よりマイナンバーカードを交付(希望者のみ)。情報連携に対応するための符号取得及び副本登録作業は、令和元年度より「番号制度関連システム管理事業」へ事務事業名変更。<br>J-LIS負担金:令和4年度からは国とJ-LIS間で直接支払いを行うこととなった。 |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>・マイナンバーカード発行への対応 ・マイナンバーカード休日交付を実施 ・市窓口でのカード申請サポート、健康保険利用登録、公金受取口座登録サポート<br>・郵便局へのカード申請サポート委託<br>・行政書士によるカード申請サポート、代理交付委託 | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>マイナンバーカードを利用した独自サービスの一環として、住民票の写し等各種証明書のコンビニ交付を令和元年11月から開始している。令和3年6月よりマイナンバーカード休日交付を開始。令和5年1月より郵便局へのカード申請委託開始。令和6年度行政書士によるカード申請サポート、代理交付委託を実施。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                               | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 個人番号活用件数                         | 件  | 3,726    | 5,713    | 5,976    | 5,500    |
| イ 個人番号カード保有枚数<br>(R5までカード発行件数(累積)) | 件  | 27,622   | 29,173   | 28,545   | 29,000   |
| ウ                                  |    |          |          |          |          |
| エ                                  |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |       |
|--------------------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 事業費計 4,222千円       | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       | 14,096   | 20,776   | 4,222    | 7,316 |
| ・報酬、手当、旅費等 2,648千円 |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |       |
| ・需用費 89千円          |          | 地方債   | 千円       |          |          |          |       |
| ・役務費 90千円          |          | その他   | 千円       |          |          |          |       |
| ・委託料 469千円         |          | 一般財源  | 千円       |          |          |          | 13    |
| ・使用料等 926千円        | 事業費計     | 千円    | 14,096   | 20,776   | 4,222    | 7,329    |       |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | マイナンバーカードの保有率が81.4%(R7.3.31)となった。(R6.3.31 77.2%)<br>※令和5年度まで成果指標としていた交付枚数は累計であり、再交付・更新なども含まれており実情と合わなくなっていた。総務省のHPでの公表も交付枚数から保有枚数へ変更されたため令和6年度から指標と成果を変更した。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 令和6年12月の健康保険証廃止を受け、カード申請が増加し、市民の89%以上にカードを交付した。希望する方の大半は申請されたと考える。今後は、5年ごとの電子証明の更新、10年ごとのカード更新等が多くなり、スムーズな対応が求められる。またカード本来の利用について、市独自の活用を検討する必要がある。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 全国のコンビニエンスストアで住民票などが取得可能なコンビニ交付サービスは、カードの交付率向上につながると共に、一部の証明は夜間や土日祝日に、また市外在住者等の窓口に来ることができない場合でも、郵送請求せずに各種証明書を取得できるなど市民サービスの向上につながっている。<br>これらのサービス利用を更に普及させるため、申請サポートの充実、カードの独自利用について庁内DX会議で検討していく。 |

|        |       |                                     |      |                        |      |   |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------------|------|---|
| 事務事業名  |       | 雲南市飯南町事務組合(火葬場)運営事業                 | 所属部  | 市民環境部                  | 所属課  | 市民生活課                                   |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 市民グループ                 | 課長名  | 宇田川康司                                   |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 岩田美幸                   | 電話番号 | 0854-40-1031<br>(内線) 2112               |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 012001<br>環境<br>054026 | 大事業名 | 環境衛生総務管理事業<br>中事業名 雲南市飯南町事務組合負担金(火葬場事業) |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 雲南市飯南町事務組合、火葬場利用者   | 三刀屋斎場の管理・運営の支援   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 ) | 埋葬・火葬が公衆衛生上適切に行なわれるよう、施設の維持・管理を目的としている。事業内容は、事務組合の議会総務費分と斎場の経常経費について四半期ごとに負担金の支払いを行なう。事業費は負担金のみである。平成20年4月1日から指定管理者制度が導入されている。 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| 事務組合(火葬場)負担金の支払い  | 平成20年4月から指定管理者制度を導入し住民サービス向上と経費節減を図っている。   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標           | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 斎場利用件数(雲南市分) | 件  | 780      | 835      | 740      | 750      |
| イ 斎場利用件数(全体分)  | 件  | 968      | 974      | 914      | 950      |
| ウ              |    |          |          |          |          |
| エ              |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 負担金 32,959千円      | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|                   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|                   | 地方債      | 千円 |          |          |          | 120,000  |
|                   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|                   | 一般財源     | 千円 | 22,488   | 32,139   | 32,959   | 26,455   |
|                   | 事業費計     | 千円 | 22,488   | 32,139   | 32,959   | 146,455  |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 利用希望に対し三刀屋斎場の管理・運営が適切に行なわれている。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 斎場運営事業については、火葬件数の増加や経年劣化が進んでおり計画的な修繕が必要となっている。                                 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 令和6年度から令和8年度にかけて火葬炉の施設改修を予定している。施設改修については事務組合で構成市町へ要請し、利用者への配慮及び周知を行いながら改修を行う。 |

|        |       |  |      |                  |              |                            |
|--------|-------|--|------|------------------|--------------|----------------------------|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 農業水路等長寿命化・防災減災事業                             | 所属部  | 建設部              | 所属課          | 農地整備課                      |
|        | 施策名   | (02)どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)          | 所属G  | 農業用施設整備G         | 課長名          | 保科浩二                       |
|        | 基本方針  | <005>防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。 | 担当者名 | 景山隆成             | 電話番号         | 0854-40-1068<br>(内線) 2402  |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                                       | 予算科目 | 013002<br>055521 | 大事業名<br>中事業名 | 土地改良事業<br>農業水路等長寿命化・防災減災事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|                     |   |
|---------------------|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか) | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)                                   |
| 農業水利施設              | 水利施設の改修を行うことで、効率的利用が可能となり、未使用ため池の廃止については、下流域の洪水被害を防止する。 |

③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

|   |  |
|---|--|
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H30 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 ) | 農業水利施設の機能を将来にわたって安定的に発揮させるための長寿命化対策、及び未使用ため池の廃止による防災減災対策の実施。 |
|---|--|

|  |  |
|--|--|
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■R6明許/箇所数<br/>水利施設整備:1箇所(※工事)</li> <li>■R6現年/箇所数<br/>水利施設整備:1箇所(※前払金のみ)<br/>ため池改修・廃止:8箇所(※委託・工事)<br/>実施計画策定:1箇所(※委託)</li> </ul> | 特になし。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|---------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア【ため池】要望箇所に対する改修実施率 | %  | 18.9     | 20.8     | 22.6     | 24.5     |
| イ【ため池】要望箇所に対する廃止実施率 | %  | 5.1      | 12.8     | 25.6     | 33.3     |
| ウ【頭首工】水利施設整備箇所数     | 箇所 | 0        | 0        | 0        | 1        |
| エ                   |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |         |
|--|----------|-------|----------|----------|----------|----------|---------|
| ■事業費:84,285千円<br>[R6明許分:1箇所]<br>工事費:2,613千円<br>[R6現年分:10箇所]<br>委託費:12,772千円<br>工事費:67,761千円<br>補償費:1,139千円<br>■充当起債<br>合併特例債 | 財源内訳     | 国庫支出金 |          |          |          |          |         |
|  |          | 県支出金  | 千円       | 38,537   | 39,635   | 74,405   | 171,866 |
|  |          | 地方債   | 千円       | 5,000    | 2,000    | 8,900    | 24,400  |
|  |          | その他   | 千円       | 232      | 114      | 234      | 950     |
|  |          | 一般財源  | 千円       | 745      | 557      | 746      | 1,959   |
|  |          | 事業費計  | 千円       | 44,514   | 42,306   | 84,285   | 199,175 |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 農業水利施設の改修及びため池の廃止を行うことにより、水利の安定的な確保や維持管理の労力軽減を図り、且つ周辺地域の安全安心の確保に寄与した。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 実施メニューのうち国費100%で実施可能なため池廃止事業については、令和12年度までの時限措置であり、早期に実施する必要がある。      |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 農業水利施設の改修及びため池の廃止について、施設規模や事業効果などにより優先順位を定め、円滑に事業を実施する。               |

|        |       |  |      |        |      |                           |
|--------|-------|--|------|--------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 農道維持事業   | 所属部  | 建設部    | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共維持G  | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 常松 優基  | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2472 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 会計   | 013001 | 大事業名 | 農道維持事業                    |
|        |       |  | 科目   | 057501 | 中事業名 | 農道維持事業                    |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|                     |  |
|---------------------|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか) | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)                        |
| 農道利用者               | 農道の適正な維持により、農産物の効率的な輸送が図られるとともに、通行の安全が確保される。 |

③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

|   |   |
|---|---|
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ① 農道の維持修繕<br>② 農道の除草委託 ③ 集落間除草受付・支払<br>④ 池月・平成トンネル防災設備保守点検業務委託<br>⑤ 農道橋点検業務委託 |
|---|---|

④ 主な活動 (R6年度実績(R6年度に行った主な活動))

|   |   |
|---|---|
| ① 農道の維持修繕<br>② 農道の除草委託<br>③ 集落間除草受付・支払<br>④ トンネル防災設備保守点検業務委託<br>⑤ 農道橋点検業務委託 | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>R4年度から簡易的な維持修繕を建設部の道路維持修繕補助業務委託により実施<br>R5年度から農道管理について農林土木課から建設部へ移管 |
|---|---|

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                   | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 66.8     | 63.7     | 63.9     | 63.9     |
| ア                      |    |          |          |          |          |
| イ                      |    |          |          |          |          |
| ウ                      |    |          |          |          |          |
| エ                      |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) |           | ② コストの推移 |       | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|-----------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【需用費】             | 3,614千円   | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円 |          |          | 6,600    | 5,000    |
| 【役務費】             | 3,887千円   |          | 県支出金  | 千円 |          |          |          |          |
| 【委託料】             | 9,488千円   |          | 地方債   | 千円 |          | 2,600    |          |          |
| 【工事請負費】           | 994千円     |          | その他   | 千円 |          |          | 3,887    | 3,500    |
| 【原材料費】            | 117千円     |          | 一般財源  | 千円 | 18,342   | 15,950   | 7,613    | 9,411    |
| <国庫支出金>           | 農村整備事業補助金 | 事業費計     |       | 千円 | 18,342   | 18,550   | 18,100   | 17,911   |
| <その他>             | 政策選択基金繰入金 |          |       |    |          |          |          |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 適切な農道維持管理を実施し、農道環境が保たれた。                          |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 通行に支障となる道路法面から張り出した樹木伐採は、地域で実施される集落間除草だけでは解消できない。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 通行に支障となる樹木の繁茂が著しい箇所を計画的に監視できるよう箇所一覧図が必要となる。       |

|              |   |           |                                |
|--------------|---|-----------|--------------------------------|
| 事務事業名 地籍調査事業 |   | 所属部 市民環境部 | 所属課 国土調査課                      |
| 総合計画体系       | 施策名 <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G 国土調査G | 課長名 金山 博                       |
|              | 基本方針 方針外                                | 担当者名 金山 博 | 電話番号 0854-40-1105<br>(内線) 4730 |
|              | 重点テーマ 重点テーマ外                            | 会計 013002 | 大事業名 地籍調査事業                    |
|              |   | 科目 059001 | 中事業名 地籍調査事業                    |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)<br>地籍調査が実施されていない土地及びその所有者(属地主義)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)<br>未調査土地の筆界・地番・地目・所有者などの確認が行なわれ、精度の高い地籍図、地籍簿が作成され、法務局に備え付けられる。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)<br>事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )   |   |
| 国土調査法に基づき、土地の境界、所有者、地目等を調査・確認し、測量を行い、新しい地図(地籍図)と簿冊(地籍簿)の成果を法務局へ送付し登記が図られる。現地調査開始から登記完了まで、1工区を約3年の期間をかけ実施することを基本とする。  |   |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>【一筆地調査】 篠淵4-2-1工区0.27km <sup>2</sup> 、高窪2工区1.1km <sup>2</sup> 、六重4工区1.99km <sup>2</sup> 、須所2工区0.95km <sup>2</sup><br>【細部測量】 篠淵4-2-1工区0.27km <sup>2</sup> 、高窪1工区1.66km <sup>2</sup> 、六重3工区1.52km <sup>2</sup> 、須所1工区0.42km <sup>2</sup> | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>現地調査の迅速化・効率化を推進するために、調査図作成システム、事務支援システム等の導入を図ってきた。また、推進委員へのヘルメット貸与、応急セット配備等の安全備品整備を行い、事故防止等、危機管理の徹底の他、各種地籍調査研修への積極的な参加等のスキルアップに努めている。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標      | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 地籍調査進捗率 | %  | 97.2     | 98.2     | 98.9     | 99.7     |
| イ         |    |          |          |          |          |
| ウ         |    |          |          |          |          |
| エ         |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  |         | ② コストの推移 |       | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--------------------|---------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【地籍調査事業費内訳】(単位:千円) |         | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円 |          |          |          |          |
| 報酬・手当              | 14,232  |          | 県支出金  | 千円 | 180,714  | 90,600   | 95,460   | 90,750   |
| 報償費                | 1,078   |          | 地方債   | 千円 |          |          |          |          |
| 需用費                | 3,042   |          | その他   | 千円 | 194      | 128      | 44       | 2        |
| 委託料                | 114,330 |          | 一般財源  | 千円 | 68,753   | 38,916   | 39,390   | 36,657   |
| その他                | 2,212   |          | 事業費計  | 千円 | 249,661  | 129,644  | 134,894  | 127,409  |
| 合計                 | 134,894 |          |       |    |          |          |          |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 調査未実施の地籍は、明治時代の地租改正によって作成されたもので、境界、形状などが実際の土地の状況に合わないものや、登記簿の面積も正確でない場合もあり、以下のような成果が得られる。<br>①土地の正確な位置が判り、個々の財産を守り、境界紛争が防止できる。<br>②迅速な災害復旧ができる。③土地売買や分合筆がスムーズにでき、土地取引の円滑化に繋がる。<br>④公共事業の円滑化が図れる。⑤きめ細やかなまちづくり計画の立案等が可能となる。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 地籍調査事業は、未来永劫的な継続事業ではなく有期事業である。過疎、高齢化の進展により、境界情報が喪失する状況にあり、早期完了が急務である。<br>三刀屋町は、H22年度鍋山地区、H23年度古城地区、H24年度中野地区、H25年度一宮地区から早期実施の陳情が出されている。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 要望に応えるため、H24年度に策定した「雲南市地籍調査実施計画」に基づき、H26年度から現地調査班を4班に増強し、R7年度に現地調査を完了予定としている。<br>また、市全体の地籍調査完了をR10年度と見込んでいる。  |

|        |       |                                     |      |                        |      |                           |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------------|------|---------------------------|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 林地崩壊防止事業(R6災)                       | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 農地整備課(災害復興T)              |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 災害復興G                  | 課長名  | 今岡 久                      |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 高木 洋輔                  | 電話番号 | 0854-40-1062<br>(内線) 2474 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 会計 013001<br>科目 104001 | 大事業名 | 林地崩壊防止事業<br>中事業名 林地崩壊防止事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 被災箇所  | 被災箇所を復旧する。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R6 年度 ~ R7 年度 ) | 降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。<br>復旧工法:コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠(※事業費は100万円以上)<br>受益者負担は世帯の所得状況により、(A)住民税非課税世帯:10%、(B)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円未満:12.5%、(C)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円以上:15%<br>補助額は、(A)事業費×1/2、(B)(事業費-100万円)×1/2、(C)(事業費-200万円)×1/2 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| <R6災>8箇所が被災<br>5箇所の測量設計を発注・完了、復旧工事を発注済み→R7完了予定<br>残り3箇所はR7年度に発注・完了予定  | 応急土砂撤去費用を補助対象事業費に含めることができたため、必要に応じて被災直後の応急土砂撤去を実施。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標           | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 発注率(年度末時点)   | %  |          |          | 63       | 100      |
| イ 完了箇所数(全体8箇所) | 箇所 |          |          | 0        | 8        |
| ウ 完了率(年度末時点)   | %  |          |          | 0        | 100      |
| エ              |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算)   | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----|--|----------|----------|----------|
|                   |          |    | 【R6現年(R6災)】<br>委託費:4,147千円(5箇所)、工事費:2,369千円(応急土砂撤去:2箇所)<br>計:6,516千円<br>※地方債:緊急自然災害防止対策事業債 | 国庫支出金    | 千円       |          |
|                   | 県支出金     | 千円 |  |          | 2,886    | 37,026   |
|                   | 地方債      | 千円 |  |          | 3,200    | 29,800   |
|                   | その他      | 千円 |  |          |          | 8,917    |
|                   | 一般財源     | 千円 |  |          | 430      | 71       |
|                   | 事業費計     | 千円 | 0  | 0        | 6,516    | 75,814   |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 早期復旧に努め、生活の安全が確保された。<br>R6災分は8箇所中5箇所の復旧工事を発注済みであり、残り3箇所も含めR7年度中に全箇所復旧完了予定。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 人家裏の施工性の悪い場所での復旧工事になるため、工期が長くなる場合がある。                                      |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。   |

|        |       |                                     |      |                        |      |                           |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------------|------|---------------------------|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 林地崩壊防止事業(R5災)                       | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 農地整備課<br>(災害復興T)          |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 災害復興G                  | 課長名  | 今岡 久                      |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 高木 洋輔                  | 電話番号 | 0854-40-1062<br>(内線) 2474 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 会計 013001<br>科目 104001 | 大事業名 | 林地崩壊防止事業<br>中事業名 林地崩壊防止事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 被災箇所  | 被災箇所を復旧する。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) | 降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。<br>復旧工法:コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠(※事業費は100万円以上)<br>受益者負担は世帯の所得状況により、(A)住民税非課税世帯:10%、(B)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円未満:12.5%、(C)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円以上:15%<br>補助額は、(A)事業費×1/2、(B)(事業費-100万円)×1/2、(C)(事業費-200万円)×1/2 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| <R5災><br>R6へ繰越した復旧工事6箇所が完了し、全箇所復旧完了   | 応急土砂撤去費用を補助対象事業費に含めることができるようになったため、必要に応じて被災直後の応急土砂撤去を実施。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標           | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 発注率(年度末時点)   | %  |          | 83       | 100      |          |
| イ 完了箇所数(全体6箇所) | 箇所 |          | 0        | 6        |          |
| ウ 完了率(年度末時点)   | %  |          | 0        | 100      |          |
| エ              |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                                    | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----------|
|  |          |    | 千円       | 千円       | 千円       | 千円       |
| 【R5繰越(R5災)】6箇所<br>工事費:41,430千円<br>※地方債:緊急自然災害防止対策事業債 | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|  | 県支出金     | 千円 |          | 2,604    | 18,593   |          |
|  | 地方債      | 千円 |          | 3,300    | 17,000   |          |
|  | その他      | 千円 |          |          | 5,742    |          |
|  | 一般財源     | 千円 |          | 69       | 95       |          |
| 事業費計   |          | 千円 | 0        | 5,973    | 41,430   | 0        |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 早期復旧に努め、生活の安全が確保された。<br>R5災分は、R6年度中に全箇所復旧完了。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 特になし   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 特になし   |

|                    |   |                                |                                |
|--------------------|---|--------------------------------|--------------------------------|
| 事務事業名 中心市街地活性化推進事業 |   | 所属部 産業観光部                      | 所属課 商工振興課                      |
| 総合計画体系             | 施策名 <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)             | 所属G 商工振興G                      | 課長名 落部 大                       |
|                    | 基本方針 <006>空き家や遊休農地など未利用の地域資源の活用を促進し、地域の活力維持に取り組みます。 | 担当者名 金山 佳文                     | 電話番号 0854-40-1052<br>(内線) 2434 |
|                    | 重点テーマ <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化               | 会計 款 大事業 大事業名 商工振興総務管理事業       |                                |
|                    |   | 予算科目 項 目 中事業 中事業名 中心市街地活性化推進事業 |                                |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民、商業者  | 市外に流出している購買力の流れを止めるとともに、市外に移住する人口の流れを止め、宿泊客(交流人口)の流出を止めることを目指す。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H27 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 ) | 計画している中心市街地活性化は、市外に流出している購買力の流れを止めるとともに、市外に移住する人口の流れを止め、宿泊客(交流人口)の流出を止めることを目指すため、商業振興・定住促進・交流促進に繋がる各種施策を展開する。 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績 (R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| 中心市街地活性化基本計画に掲げる事業推進のため、雲南市中心市街地活性化協議会に対して支援を行った。また、延期された「ホテル整備」については、令和6年5月に着工され令和7年夏に開業予定となっている。開業後を見据えて交流人口拡大に向けた取り組みを進めた。                   | 民間事業の核事業であるホテル誘致について、市・商工会・まちづくり会社が一体となって、誘致活動を進めている。コトリエット運営についても、市・商工会・まちづくり会社が有機的に連携し、事業を推進している。           |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標            | 単位  | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------------|-----|----------|----------|----------|----------|
| ア 中心市街地エリア内人口   | 人   | 1,969    | 1,956    | 1,926    | 2,000    |
| イ まめなカー市の年間入込客数 | 人   | 2,174    | 1,042    | 683      | 10,000   |
| ウ 中心市街地エリア内新規出店 | 事業者 | 1        | 1        | 2        | 3        |
| エ               |     |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|
|                   |          |       | 千円       | 千円       | 千円       | 千円       |
| 負担金 32,817千円      | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       | 4,267    |          |          |
|                   | 県支出金     | 千円    |          |          |          |          |
|                   | 地方債      | 千円    |          |          |          |          |
|                   | その他      | 千円    |          |          |          | 6,165    |
|                   | 一般財源     | 千円    | 21,070   | 32,438   | 32,817   | 30,165   |
|                   | 事業費計     | 千円    | 25,337   | 32,438   | 32,817   | 36,330   |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | コトリエットのテナントが連携し、親子イベント、周年記念イベントの他、まちづくり協議会によるイベントなど積極的に開催することができ、中心市街地活性化基本計画に掲げる賑わいの創出につながった。                 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 中心市街地活性化基本計画の推進により、定住人口の流出・購買力の流出・交流人口の流出の課題を一定程度解決できる手段であり、市の商業振興を推進していく上で重要な事務事業である。                         |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ホテルが着工され、オープン後の誘客やエリアの活性化に向けて関係人口の拡大について引き続き関係者と取り組んでいく。コトリエットについてはまちづくり会社が自立的・持続的に運営できるようにテナント運営、誘致に対する支援を行う。 |

|        |       |  |      |        |      |                           |
|--------|-------|--|------|--------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 道路維持補修事業   | 所属部  | 建設部    | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共維持G  | 課長名  | 松村直樹                      |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 古瀬秀俊   | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2472 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 会計   | 014002 | 大事業名 | 道路施設管理事業                  |
|        |       |  | 科目   | 101001 | 中事業名 | 道路維持補修事業                  |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 道路利用者   | 市内を安全で迅速に移動できるようにする。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・市道の維持修繕の実施<br>・道路パトロールの実施  |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ・道路に関する破損等の情報受付<br>・現地確認<br>・修繕の実施<br>・修繕経費の支出  | ・平成28年度から維持管理業務を本庁集約した。<br>・平成31年度から道路環境整備事業の業務委託により簡易修繕等がより迅速に行えるようになった。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                   | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 66.8     | 63.7     | 63.9     | 63.9     |
| アイウエ                   |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) |          | ② コストの推移 |       | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【修繕費】             | 43,110千円 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円 |          |          |          |          |
| 【役務費】             | 917千円    |          | 県支出金  | 千円 |          |          |          |          |
| 【委託料】             | 1,079千円  |          | 地方債   | 千円 |          |          |          |          |
| 【賃借料】             | 52千円     |          | その他   | 千円 |          |          |          |          |
| 【原材料費】            | 3,823千円  |          | 一般財源  | 千円 | 50,388   | 52,689   | 48,981   | 23,044   |
|                   |          | 事業費計     |       | 千円 | 50,388   | 52,689   | 48,981   | 23,044   |

2 事後評価【SEE】

|                 |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|
| ① 事業実績における成果    | 道路維持修繕を行うことにより、市民が安全・安心に通行できるようになった。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 道路施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にある。            |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 道路維持管理計画に基づく道路施設の計画的な維持管理を進める。       |

|        |       |  |      |                  |      |                                 |
|--------|-------|--|------|------------------|------|---------------------------------|
| 事務事業名  |       | 交付金活用道路修繕事業  | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                           |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共土木G            | 課長名  | 松村 直樹                           |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 今岡 亮             | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2471       |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | 014002<br>101009 | 大事業名 | 道路施設管理事業<br>中事業名<br>交付金活用道路修繕事業 |
|        |       |  | 会計   | 014002<br>101009 | 大事業名 | 道路施設管理事業<br>中事業名<br>交付金活用道路修繕事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |  |
|--|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 道路利用者  | 市内を安全で迅速に移動できるようにする。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H26 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )        | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路ストック点検結果に基づき、道路維持管理計画を見直し、計画的な修繕を実施する。</li> <li>平成28年度に実施した落石・法面緊急点検結果に基づき、緊急性の高い箇所から対策を実施する。</li> <li>路面性状調査を基に舗装修繕を実施する。</li> <li>小規模附属物台帳を整備し効率的な維持管理を行う。</li> </ul> |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>路面性状調査・小規模附属物台帳作成業務</li> <li>法面調査業務</li> <li>市道梅木曾木線法面対策工事</li> <li>市道芦谷線落石対策工事</li> <li>市道多根須佐線落石対策工事</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>H26年度に道路ストック点検を行った。道路法一部改正に伴い、概ね10年に1度点検をしなければならない為、R元年度~R6年度において2巡目の点検を行う。</li> </ul>  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 66.8     | 63.7     | 63.9     | 63.9     |
| イ 施工箇所                   | 箇所 | 1        | 0        | 3        | 2        |
| ウ                        |    |          |          |          |          |
| エ                        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位     | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 【委託料】路面性状・附属物 9,258千円、市道法面調査業務 5,610千円、芦谷線伐採 1,564千円、多根須佐線伐採 2,351千円<br>【工事費】梅木曾木線法面対策工事 18,227千円、芦谷線落石対策工事 10,642千円、多根須佐線落石対策工事 7,873千円<br>【事務費】 662千円<br>【地方債】合併特例債 | 国庫支出金    | 千円     | 21,636   | 8,475    | 31,649   | 27,930   |
|   | 県支出金     | 千円     |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円     | 10,600   |          | 17,200   | 17,900   |
|   | その他      | 千円     |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円     | 6,245    | 6,525    | 7,338    | 4,170    |
| 事業費計  | 千円       | 38,481 | 15,000   | 56,187   | 50,000   |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | <ul style="list-style-type: none"> <li>路面性状調査及び小規模附属物調査の結果を反映し、舗装及び道路附属物の修繕計画を作成した。</li> <li>市道芦谷線及び市道多根須佐線の法面対策が図られ、道路利用者の安全が確保された。</li> </ul>  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路施設の老朽化が進み、補修や更新、安全対策が必要な箇所が増加している中、計画的かつ効率的な道路の維持管理を確保するため、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)を構築し、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。</li> </ul>  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路維持管理計画(H24策定)に基づき、毎年ローリングを行い、一定規模以上の維持修繕は本事業により修繕を図っている。</li> <li>メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)を構築し、ライフサイクルコストの縮減を図るため、次期道路維持管理計画及び各道路施設の個別施設計画を策定し、各道路施設の修繕優先度や実施方針を定め、計画的かつ効率的な修繕を実施していく。</li> <li>防災・安全社会資本整備交付金を活用することで、修繕予算を確保し、計画的な修繕の早期対応を目指している。</li> </ul> |

|        |       |  |      |  |      |                           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|-------|--|------|--|------|---------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名  |       | 道路施設整備事業   | 所属部  | 建設部  | 所属課  | 建設工務課                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共土木G  | 課長名  | 松村直樹                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 石原裕太   | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2473 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | <table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </table> | 会計   | 0                         | 1 | 4 | 0 | 0 | 2 | 項 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 会計     | 0     | 1  | 4    | 0  | 0    | 2                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 項      | 1     | 0  | 1    | 0  | 1    | 2                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 道路利用者   | 市内を安全で迅速に移動できるようにする。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H25 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・優先度の高いものから当該年度修繕工事箇所を選定し、修繕を行う。<br>・毎年度、新規修繕箇所を加味した道路維持管理計画を策定し、修繕箇所のローリングによる再評価を行う。                   |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| 元天神大別成木線道路整備工事 L=45.7m<br>宍道線舗装工事 L=740m<br>山田遠所線舗装工事 L=158m<br>加茂荘原線舗装工事 L=233m<br>矢入西谷線舗装工事 L=200m<br>牛ヶ首線舗装工事 L=220m                           | ・一般財源のみで開始した事業であるが、舗装修繕は、交付金の対象外となったため、この事業で特定財源(辺地債、合併特例債など)を活用し修繕を行っている。また、局所的な改良についても計画的な事業実施を行っている。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 67       | 64       | 64       | 64       |
| イ                        |    |          |          |          |          |
| ウ                        |    |          |          |          |          |
| エ                        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移                            | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--|-------------------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【緊急自然災害債】<br>元天神大別成木線道路整備工事 19,943千円<br>【合併特例債】<br>宍道線舗装工事 13,160千円<br>山田遠所線舗装工事 5,788千円<br>加茂荘原線舗装工事 5,936千円<br>矢入西谷線舗装工事 6,182千円<br>【辺地債】 牛ヶ首線舗装工事 9,939千円<br>【事務費】 70千円 | 国庫支出金<br>県支出金<br>地方債<br>その他<br>一般財源 | 千円 |          |          |          |          |
|  | 事業費計                                | 千円 | 11,983   | 46,506   | 61,018   | 33,600   |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 路面性状調査の結果から要対策箇所の舗装を修繕することで、健全な状態に保つことで長寿命化が図れた。  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・局部改良的な要望箇所については、今後も有利な財源を活用しながら、継続して計画的に整備を行っていく必要がある。<br>・舗装修繕については、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)を構築し、ライフサイクルコストの削減を図る必要がある。                |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・R元年度～R6年度にかけて、2巡目の道路ストック点検(路面性状調査)をし、健全度判定を行い、要対策の舗装修繕を図る。<br>・道路維持管理計画に基づき、計画的に特定財源を活用し、事業の完了を図る。<br>・道路改良事業で実施できない箇所は、本事業で検討し対応していく。 |

|        |       |  |      |                        |      |                                 |
|--------|-------|--|------|------------------------|------|---------------------------------|
| 事務事業名  |       | 交付金活用通学路道路整備事業                                       | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建設工務課                           |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共土木G                  | 課長名  | 松村 直樹                           |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 今岡 亮                   | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2471       |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | 会計 014002<br>科目 101014 | 大事業名 | 道路施設管理事業<br>中事業名 交付金活用通学路道路整備事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 道路利用者  | 市内を安全で迅速に移動できるようにする。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H29 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )                            | ・雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、計画的な整備及び修繕等を実施する。  |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道新市線・新市中線用地費(R5繰越分)</li> <li>・市道後谷上側線道路整備工事</li> <li>・市道赤川北線防護柵修繕工事</li> <li>・市道城山以屋谷線・共和線歩道整備工事</li> <li>・市道斐伊神原線歩道整備工事</li> </ul> | ・平成26年から雲南市通学路安全推進会議を設置し、関係部署から危険箇所の抽出を行い、毎年ローリングを行い、雲南市通学路交通安全プログラムに掲載し、緊急性の高い箇所から計画的に事業を実施している。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 66.8     | 63.7     | 63.9     | 63.9     |
| イ 施工箇所                   | 箇所 | 3        | 2        | 4        | 4        |
| ウ                        |    |          |          |          |          |
| エ                        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位     | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 【用地費】<br>(R5年度繰越) 新市線新市中線用地費 101千円<br>【工事費】<br>後谷上側線道路整備工事 14,753千円<br>赤川北線防護柵修繕工事 2,878千円<br>城山以屋谷線・共和線歩道整備工事 1,700千円<br>市道斐伊神原線歩道整備工事 715千円<br>【事務費】131千円<br>【地方債】合併特別債 | 国庫支出金    | 千円     | 13,896   | 21,272   | 12,300   | 12,540   |
|   | 県支出金     | 千円     |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円     | 8,100    | 12,400   | 7,400    | 6,500    |
|   | その他      | 千円     |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円     | 514      | 728      | 578      | 960      |
| 事業費計  | 千円       | 22,510 | 34,400   | 20,278   | 20,000   |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | ・雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、4路線の歩道整備工事等を実施し通学路の安全が確保できた。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・毎年学校からの要望や地域、警察、市の合同点検による危険箇所の抽出により、通学路の交通安全対策に関する要望箇所が多数あげられ、対策実施が追いつかない状況である。                                |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・多数ある対策実施について対策を計画的かつ効率的に実施するため、雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、緊急性の高い箇所から事業実施するとともに、防災・安全社会資本整備交付金を活用し、財源を確保しながら事業を継続していく。 |

|        |       |  |      |                        |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 道路環境整備事業   | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共維持G                  | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 常松 優基                  | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2478 |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | 会計 014002<br>科目 101016 | 大事業名 | 道路施設管理事業<br>中事業名 道路環境整備事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 道路利用者   | 市内を安全で迅速に移動できるようにする。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H25 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・道路除草の実施<br>・作業員による道路修繕の実施  |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ・道路維持補修補助業務の委託<br>・作業員へ修繕(補修)箇所等の指示<br>・除草作業業務の委託   | ・令和5年度から防災部所管重機及び車両を借用しての作業実施<br>・平成30年度から道路除草作業の委託<br>・平成31年度から道路維持修繕補助業務の委託<br>・平成28年度から本庁で一括管理 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                   | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 66.8     | 63.7     | 63.9     | 63.9     |
| ア                      |    |          |          |          |          |
| イ                      |    |          |          |          |          |
| ウ                      |    |          |          |          |          |
| エ                      |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) |          | ② コストの推移 |       | 単位     | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----------|-------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 【消耗品費】            | 815千円    | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円     |          |          |          |          |
| 【燃料費】             | 1,159千円  |          | 県支出金  | 千円     |          |          |          |          |
| 【修繕費】             | 325千円    |          | 地方債   | 千円     |          |          |          |          |
| 【手数料】             | 163千円    |          | その他   | 千円     |          |          |          |          |
| 【管理運営委託】          | 35,823千円 |          | 一般財源  | 千円     | 36,302   | 39,086   | 39,456   | 41,364   |
| 【工事材料費】           | 1,171千円  | 事業費計     | 千円    | 36,302 | 39,086   | 39,456   | 41,364   |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 業務委託により、簡易修繕・除草作業及び支障木伐採等を迅速に行うことができ、道路利用者の安全が確保できている。                      |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 高齢化・人口減少等により、地域での除草作業等のボランティアによる作業量が減少し、年々除草作業業務の委託料が増加しており適切な管理が困難になりつつある。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 除草業務等をシルバー人材センター及び社会福祉法人等による就労支援事業所へ業務委託を行い、適切な管理の継続を図る。                    |

|        |       |  |      |        |      |                           |
|--------|-------|--|------|--------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 道路愛護事業   | 所属部  | 建設部    | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共維持G  | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 大野 哲敬  | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2472 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 会計   | 014002 | 大事業名 | 道路施設管理事業                  |
|        |       |  | 科目   | 101005 | 中事業名 | 道路愛護事業                    |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |  |
|--|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)                      |
| 道路(河川)愛護作業の参加者   | ボランティアによる道路の維持管理の実施。                       |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )  | 各自治会が取り組む道路の除草・清掃作業を支援するため、業者委託や資材等の配布を行う。 |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯                             |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会へ作業依頼書の配布、実施計画の取りまとめ</li> <li>業者との委託契約</li> <li>道路補修用資材を希望自治会へ配布</li> <li>愛護作業の準備及び作業補助等</li> <li>愛護作業参加者のための保険契約</li> <li>集落間除草作業</li> </ul> | ・H28年度から建設部に集約して実施している。                    |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                   | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 集落間除草実施団体数           | 団体 | 35       | 39       | 52       | 55       |
| イ 未舗装道路舗装等環境整備原材料支給団体数 | 団体 | 7        | 7        | 4        | 4        |
| ウ 道路河川愛護作業資材支給団体数      | 団体 | 90       | 88       | 83       | 83       |
| エ                      |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) |           | ② コストの推移 |       | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|-----------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【手数料】             | 3,213千円   | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円 |          |          |          |          |
| 【保険料】             | 1,999千円   |          | 県支出金  | 千円 |          |          |          |          |
| 【委託料】             | 1,988千円   |          | 地方債   | 千円 |          |          |          |          |
| 【賃借料】             | 79千円      |          | その他   | 千円 |          |          | 2,192    | 4,529    |
| 【工事材料費】           | 2,444千円   |          | 一般財源  | 千円 | 8,738    | 9,186    | 8,118    | 8,563    |
| 【機械器具購入費】         | 515千円     |          | 事業費計  | 千円 | 8,738    | 9,186    | 10,310   | 13,092   |
| 【交付金】             | 72千円      |          |       |    |          |          |          |          |
| <その他>             | 政策選択基金繰入金 |          |       |    |          |          |          |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・地域住民と市との協働で道路の維持管理ができています。                      |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・高齢化や過疎化等により作業実施が困難になりつつある自治会も見受けられる。            |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・地域内の除草作業について、今後も地域で継続できるよう新たな団体等への働きかけを行う必要がある。 |

|        |       |  |      |                  |      |                               |
|--------|-------|--|------|------------------|------|-------------------------------|
| 事務事業名  |       | 道路愛護事業交付金  | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                         |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共維持G            | 課長名  | 松村 直樹                         |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 大野 哲敬            | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2472     |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 会計科目 | 014002<br>101025 | 大事業名 | 道路施設管理事業<br>中事業名<br>道路愛護事業交付金 |
|        |       |  |      |                  |      |                               |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |  |
|--|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市民のボランティア作業参加者   | ボランティアによる道路、河川の維持管理の実施。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度<br>( 年度～ 年度 ) | ・道路河川愛護作業への交付金の交付  |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| 住民参加による道路河川愛護作業実施に係る交付金支払<br>①1回目4月～8月、2回目9月～11月に自治会等で実施<br>②自治会から市へ愛護作業実績の報告<br>③自治会へ交付金支払  | ・平成29年度より機械借上げ経費を交付金の対象とした。<br>・令和2年度より2回目の単価を1回目と同額に見直した。<br>・令和5年度より、世帯数10戸以下、若しくは高齢者世帯を除く世帯数10戸以下の自治会には、シルバー人材センター依頼費用の2分の1を交付金対象とした。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                     | 単位 | R4年度<br>(実績) | R5年度<br>(実績) | R6年度<br>(実績) | R7年度<br>(計画) |
|--------------------------|----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ア 自然環境が守られていると感じる市民の割合   | %  | 73.5         | 78.2         | 57.8         | 57.8         |
| イ 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 66.8         | 63.7         | 63.9         | 63.9         |
| ウ 交付金交付団体数               | 団体 | 434          | 436          | 435          | 435          |
| エ                        |    |              |              |              |              |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【交付金】 10,476千円    | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
| <その他>政策選択基金繰入金    | 財源内訳     |    |          |          |          |          |
|                   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|                   | 地方債      | 千円 |          |          |          |          |
|                   | その他      | 千円 |          |          | 10,476   | 11,880   |
|                   | 一般財源     | 千円 | 10,982   | 10,865   |          |          |
|                   | 事業費計     | 千円 | 10,982   | 10,865   | 10,476   | 11,880   |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・地域住民と市との協働で道路・河川の維持管理が実施できている。                  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・高齢化や過疎化等により作業実施が困難になりつつある自治会も見受けられる。            |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・地域内の除草作業について、自治会等で活動の継続が図られるよう制度の拡充など見直しが必要となる。 |

|        |       |  |      |                  |      |                                |
|--------|-------|--|------|------------------|------|--------------------------------|
| 事務事業名  |       | 道路安全対策事業   | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                          |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共土木G            | 課長名  | 松村直樹                           |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 石原裕太             | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2473      |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | 014003<br>101001 | 大事業名 | 再稼働交付金活用事業<br>中事業名<br>道路安全対策事業 |
|        |       |  |      |                  |      |                                |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 道路利用者   | 市内を安全で迅速に移動できるようにする。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R6 年度 ~ R7 年度 ) | 島根県原子力発電所から30km圏内に位置しており、原子力災害時に避難ルートとなる市道の整備を進め、安全な交通路の確保に取り組む。   |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)                                   |
| 佐世線舗装工事 L=600m<br>大多和線舗装工事 L=1,171.5m<br>木次上宇山線舗装工事 L=500m  | ・舗装修繕は、特定財源(辺地債、合併特例債など)を活用し修繕を行ってきた。また、局所的な改良についても計画的な事業実施を行っている。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 67       | 64       | 64       | 64       |
| イ                        |    |          |          |          |          |
| ウ                        |    |          |          |          |          |
| エ                        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【工事費】<br>佐世線舗装工事 8,193千円<br>大多和線舗装工事 19,208千円<br>木次上宇山線舗装工事 11,267千円<br><br>【地方債】<br>合併特例債 | 国庫支出金    | 千円 |          |          | 30,000   | 20,000   |
|  | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|  | 地方債      | 千円 |          |          | 8,200    |          |
|  | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|  | 一般財源     | 千円 |          |          | 468      | 1,000    |
| 事業費計   | 千円       |    | 0        | 0        | 38,668   | 21,000   |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 市民の安全・安心と利便性向上、通学時等の児童生徒の安全確保向上はもとより、原子力災害時の円滑な避難に向けての安全体制の確保に努める。  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 施設の老朽化が進んでおり対策箇所が多いことで、予算確保及び優先順位付けによる計画的な実施が必要。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・地域振興計画及び道路維持管理計画に基づき、計画的に特定財源を活用し、事業の完了を図る。<br>・R元年度～R6年度にかけて、2巡目の道路ストック点検(路面性状調査)をし、健全度判定を行い、要対策の舗装の損傷度を把握する。 |

|        |       |  |      |                  |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 市道佐世線(西阿用工区)道路改良事業                                   | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 道路改良G            | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 村上 誠             | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2473 |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | 014003<br>101502 | 大事業名 | 市道道路整備事業                  |
|        |       |  |      |                  | 中事業名 | 交付金道路整備事業                 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市道及び市道利用者   | 道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R2 年度 ~ R8 年度 ) | 本路線は大東町佐世地区を縦断する幹線道路であり、生活道として重要な役割を担っており、市民バス路線ともなっている。<br>そのうち、西阿用地内の本事業箇所を除く区間は既に改良済みであり、本事業で拡幅改良整備することで全線改良整備が完遂されるものである。<br>整備延長 L=807m 幅員 W=5.0m |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| ・道路改良工事、(仮称)十王橋下部工右岸工事(R5繰越分)<br>・水道、電柱補償(R5繰越分)<br>・道路改良工事(R7へ繰越)<br>・電柱補償(R6)   | 設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標               | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 整備率(供用延長/整備計画延長) | %  | 0        | 0        | 0        | 0        |
| イ                  |    |          |          |          |          |
| ウ                  |    |          |          |          |          |
| エ                  |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【地方債】過疎債<br>(工事費) 72,273千円<br>(補償費) 2,456千円<br>(事務費) 808千円<br>(合計) 75,537千円 | 国庫支出金    | 千円 | 281      | 17,649   | 42,368   | 125,371  |
|   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 | 800      | 17,400   | 33,000   | 77,300   |
|   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円 | 36       | 102      | 169      | 24       |
| 事業費計  |          | 千円 | 1,117    | 35,151   | 75,537   | 202,695  |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 令和5年度に繰越しとなった橋梁右岸工事を完了した。令和6年度工事は令和7年度へ繰り越しとなった。            |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。                             |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。 |

|        |       |  |      |                        |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 市道霞町野竹線道路改良事業  | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 道路改良G                  | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 内田貴宏                   | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2473 |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | 会計 014003<br>科目 101503 | 大事業名 | 市道道路整備事業                  |
|        |       |  |      |                        | 中事業名 | 起債道路整備事業                  |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市道及び市道利用者   | 道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R2 年度 ~ R9 年度 ) | 本路線は掛合町多根地区にあり国道54号の多根トンネル広島方面側出口から、三刀屋川の潜水橋を渡り多根交流センター付近へ通ずる路線である。増水時には潜水橋が通行不可となることから、本事業により行き止まりを解消する。延長 L=200m 幅員 W=5.0m |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>・霞町野竹線(仮称)中原橋下部工右岸工事(R7へ繰越し)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。                                      |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標               | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 整備率(供用延長/整備計画延長) | %  | 0        | 0        | 0        | 20       |
| イ                  |    |          |          |          |          |
| ウ                  |    |          |          |          |          |
| エ                  |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【地方債】合併特例債<br>(工事費) 38,500千円<br>(委託料) 0千円<br>(用地費) 0千円<br>(事務費) 2,145千円<br>(合計) 40,645千円 | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|  | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|  | 地方債      | 千円 | 13,600   | 20,881   | 38,500   | 201,200  |
|  | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|  | 一般財源     | 千円 | 798      | 1,099    | 2,145    | 3,935    |
| 事業費計   |          | 千円 | 14,398   | 21,980   | 40,645   | 205,135  |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 計画区間の工事が順調に完了し、事業が進捗している。                       |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。                 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 事業の推進には、継続的な予算措置が必要となるため、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。 |

|        |       |  |      |                         |      |                           |
|--------|-------|--|------|-------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 市道本郷下口線道路改良事業  | 所属部  | 建設部                     | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 道路改良G                   | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 村上 誠                    | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2473 |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | 会計 014003<br>項 目 101503 | 大事業名 | 市道道路整備事業                  |
|        |       |  |      |                         | 中事業名 | 起債道路整備事業                  |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |  |
|--|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市道及び市道利用者  | 道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H25 年度 ~ R8 年度 ) | 本路線は吉田町上山地内の本郷自治会と下口自治会を結ぶ連絡道路で、それぞれ行き止まりとなっている路線をつなぐことで、利便性の向上が図れるとともに、災害時には迂回路としての機能が発揮できる事業である。<br>整備延長 L=428.0m W=4.0m |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| ・道路改良工事<br>・電柱補償   | 設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。<br>工事残土の近接地での処理や他事業への流用調整を行った。   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標               | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 整備率(供用延長/整備計画延長) | %  | 0        | 0        | 0        | 0        |
| イ                  |    |          |          |          |          |
| ウ                  |    |          |          |          |          |
| エ                  |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【地方債】合併特例債<br>(工事費) 53,618千円<br>(補償金) 2,883千円<br>(事務費) 1,349千円<br>(合計) 57,850千円 | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 | 7,600    | 5,200    | 55,100   | 15,400   |
|   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円 | 420      | 65       | 2,750    |          |
| 事業費計  |          | 千円 | 8,020    | 5,265    | 57,850   | 15,400   |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 令和5年度に伐採工事を先行して実施したことにより、今年度工事が順調に進捗した。         |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。                 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 事業の推進には、継続的な予算措置が必要となるため、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。 |

|        |                |  |      |  |       |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|----------------|--|------|--|-------|--------------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名  | 国道54号三刀屋拡幅関連事業 | 所属部  | 建設部  | 所属課  | 都市計画課 |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |
| 総合計画体系 | 施策名            | (02)どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 都市計画G  | 課長名   | 藤原 昌弘        |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 基本方針           | (004)どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 渡部 喬   | 電話番号  | 0854-40-1064 |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 重点テーマ          | 重点テーマ外   |      |  | (内線)  | 2461         |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |
|        |                |  | 予算科目 | <table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </table> | 会計    | 0            | 1 | 4 | 0 | 0 | 8 | 款 |  |  |  |  |  |  | 目 | 1 | 0 | 1 | 5 | 0 | 5 |
| 会計     | 0              | 1  | 4    | 0  | 0     | 8            |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |
| 款      |                |  |      |  |       |              |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |
| 目      | 1              | 0  | 1    | 5  | 0     | 5            |   |   |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |  |
|--|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市道及び市道利用者  | 道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H29 年度 ~ R7 年度 ) | 国道54号三刀屋拡幅事業の施工に伴い、拡幅区間に取り付く都市計画道路である市道基町住宅線改良の測量、調査、設計、工事を行うものである。国道54号三刀屋拡幅事業との設計やスケジュールの調整を行い、手戻りの無いよう進める必要がある。<br>・R5年度: 物件調査, 用地買収, 建物補償<br>・R6年度: 改良工事 |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| ・道路改良工事<br>・舗装工事<br>・上水道支障移転補償   | 国道54号三刀屋拡幅事業との工程調整及び地権者への説明を適宜行い施工を進めている。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標               | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 整備率(改良延長/整備計画延長) | %  | 0        | 0        | 0        | 100      |
| イ                  |    |          |          |          |          |
| ウ                  |    |          |          |          |          |
| エ                  |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)        | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |        |
|--------------------------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 【地方債】合併特例債               | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       |          |          |          |        |
| 【現年事業費】                  |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |        |
| 【繰越事業費】                  |          | 地方債   | 千円       | 4,100    | 51,300   | 30,600   | 45,600 |
| 工事費 14,927千円 工事費 0千円     |          | その他   | 千円       |          |          |          |        |
| 補償費 3,224千円 補償費 14,053千円 |          | 一般財源  | 千円       | 236      | 2,746    | 1,604    | 2,473  |
| 計 18,151千円 計 14,053千円    | 事業費計     | 千円    | 4,336    | 54,046   | 32,204   | 48,073   |        |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 国道54号三刀屋拡幅事業の事業主体である松江国道事務所との工程調整を適宜行うことで、円滑な事業実施を図ることができている。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 国道54号三刀屋拡幅事業(松江国道事務所)との工程調整を行う。                               |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 松江国道事務所との工程調整を密に行い、円滑な事業実施に務める。                               |

|        |       |  |  |      |       |   |      |              |           |     |      |              |  |
|--------|-------|--|--|------|-------|---|------|--------------|-----------|-----|------|--------------|--|
| 事務事業名  |       | 国道・県道整備事業負担金   |  | 所属部  | 建設部   |   | 所属課  | 都市計画課        |           |     |      |              |  |
| 総合計画体系 | 施策名   | (02)どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  |  | 所属G  | 国県事業G |   | 課長名  | 藤原 昌弘        |           |     |      |              |  |
|        | 基本方針  | (004)どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 |  | 担当者名 | 坂田 洋一 |   | 電話番号 | 0854-40-1064 |           |     |      |              |  |
|        | 重点テーマ | (0007)中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      |  |      |       |   | (内線) | 2461         |           |     |      |              |  |
|        |       |  |  | 予算科目 | 会計    | 款 | 大事業  | 大事業名         | 国道・県道整備事業 |     |      |              |  |
|        |       |  |  | 0    | 1     | 4 | 0    | 0            | 8         | 中事業 | 中事業名 | 国道・県道整備事業負担金 |  |
|        |       |  |  | 1    | 0     | 1 | 5    | 2            | 6         |     |      |              |  |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   |  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)                             |  |
| 県道<br>県民・道路利用者  |  | 県道整備により利便性を確保する。(移動時間短縮、移動圏域拡大)<br>道路交通の安全性を確保する。 |  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |   |  |
| 事業期間  | 県道の改良事業・交通安全事業の調整等   |   |  |
| <input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 ) | ・県と連携し、地元調整(要望、測試、用地交渉、契約、工事、通行規制住民周知等)を行う。<br>・事業負担金の会計事務 |   |  |
| ④ 主な活動  |  | ⑤ これまでの改革・改善経緯                                    |  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  |  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)                  |  |
| 県道改良事業の調整(県・地元)<br>事業負担金の会計事務   |  | 事業負担金については、有利な起債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。          |  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標      | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 事業実施箇所数 | 箇所 | 22       | 22       | 20       | 20       |
| イ 県道計改良率  | %  | 74.3     | 74.3     | 75.1     | 75.1     |
| ウ         |    |          |          |          |          |
| エ         |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |       |
|--|----------|-------|----------|----------|----------|----------|-------|
| <b>【地方債】合併特例債</b><br>県事業負担金 11,550千円<br>幹線改良: 事業費の10%<br>生活関連: 事業費の15%<br>都計事業: 事業費の7.5% | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       |          |          |          |       |
|  |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |       |
|  |          | 地方債   | 千円       | 14,600   | 15,600   | 10,900   | 0     |
|  |          | その他   | 千円       |          |          |          |       |
|  |          | 一般財源  | 千円       | 775      | 900      | 650      | 3,000 |
| 事業費計   |          | 千円    | 15,375   | 16,500   | 11,550   | 3,000    |       |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 県道改良率は、例年とおりの水準で推移している。引き続き、県と連携し着実な事業進捗を図る。                                     |
| ② 事業実施するうえでの課題  | スムーズな事業進捗となるよう、市・地元の協力体制を万全に整える必要である。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 自動車依存率の高い島根県においては中山間地域の日常生活や地域間交流の強化・拡大に直結するものであり、引き続き市、地元の協力体制を整え、スムーズな事業進捗を図る。 |

|        |       |  |      |  |      |                           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|-------|--|------|--|------|---------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名  |       | 道路構造物長寿命化事業  | 所属部  | 建設部  | 所属課  | 建設工務課                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共土木G  | 課長名  | 松村直樹                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 石原裕太   | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2473 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 重点テーマ | <0007>中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化                      | 予算科目 | <table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </table> | 会計   | 0                         | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 項 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 9 |
| 会計     | 0     | 1  | 4    | 0  | 0    | 1                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 項      | 1     | 0  | 2    | 0  | 0    | 9                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 道路利用者   | 市内を安全で迅速に移動できるようにする。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H26 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・道路法改正により近接目視による橋梁点検を行い、その結果に基づき、判定会により健全度を判断し、橋梁長寿命化計画を策定し、計画的な修繕を行う。<br>・現在、3巡目の1年目で、計画的に橋梁点検を実施している。   |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ・市道橋梁点検の業務委託<br>・橋梁点検結果に基づく設計業務委託<br>・長寿命化計画に基づく修繕工事<br><br>3巡目(1年目)  | ・計画的な修繕により橋梁の長寿命化を図る。<br>・点検結果に伴う優先順位により、効率的な修繕ができる。また、研修会及び判定会等に参加し、技術の向上に努めている。<br>・個別施設計画に基づく道路メンテナンス事業補助制度がR2年度からスタートし、雲南市橋梁長寿命化修繕計画により修繕を実施していく。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 67       | 64       | 64       | 65       |
| イ 長寿命化、耐震化を行った橋梁数        | 橋  | 2        | 1        | 1        | 2        |
| ウ                        |    |          |          |          |          |
| エ                        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)          | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |         |
|----------------------------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 【委託料】橋梁定期点検業務(3件) 10,024千円 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       | 71,956   | 66,957   | 106,645  | 152,735 |
| 橋梁補修設計業務 11,692千円          |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |         |
| 【工事費】加茂大橋修繕工事 45,452千円     |          | 地方債   | 千円       | 32,700   | 38,400   | 57,000   | 86,500  |
| 望頂トンネル・芦原トンネル補修工事 22,112千円 |          | その他   | 千円       | 51       |          |          |         |
| 【事務費】 3,536千円              |          | 一般財源  | 千円       | 14,219   | 6,027    | 11,075   | 15,710  |
| 【R5繰工事費】加茂大橋修繕工事 81,335千円  |          | 事業費計  | 千円       | 118,926  | 111,384  | 174,720  | 254,945 |
| 【R5繰事務費】 569千円             |          |       |          |          |          |          |         |
| 【地方債】 合併特例債                |          |       |          |          |          |          |         |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・橋梁の法定点検を187橋行い、点検結果を島根県公共土木施設維持管理システムに登録するとともに修繕計画に反映した。<br>・修繕工事の実施により橋梁の安全性を確保した。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・橋長2m以上の市道橋梁の安全性を保つため、5年に1回の点検結果に基づく修繕が必要となる。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・道路法の一部改正により、今後は2m以上の橋梁については5年に1回の点検が必要である。なお、点検基準及び要領については平成26年7月に示されたが、平成27年度より近接目視へと変更となり、新たな点検基準及び簡易版点検要領に基づき実施した。<br>・橋梁点検計画は、2巡目で平準化を図り効率的に点検ができている。<br>・事後保全から予防保全にシフトすることにより、将来的なトータルコストを削減できる。<br>・今後、大規模な耐震・補修があるため、国・県等へ補助金の要望等を推進していく。 |

|                |   |               |                                |
|----------------|---|---------------|--------------------------------|
| 事務事業名 除雪総務管理事業 |   | 所属部 建設部       | 所属課 建設工務課                      |
| 総合計画体系         | 施策名 <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G 公共維持G     | 課長名 松村直樹                       |
|                | 基本方針 方針外                                | 担当者名 古瀬秀俊     | 電話番号 0854-40-1063<br>(内線) 2472 |
|                | 重点テーマ 重点テーマ外                            | 会計 科目 大事業 中事業 | 除雪総務管理事業<br>除雪総務管理事業           |
|                |   | 予算 科目         | 0 1 4 0 0 1<br>1 0 3 0 0 1     |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|                              |   |
|------------------------------|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)<br>道路利用者 | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)<br>市内を安全で迅速に移動できるようにする。 |
|------------------------------|---|

③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

|   |   |
|---|---|
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>除雪計画に基づく市道の除雪</li> <li>除雪ボランティア制度の実施</li> <li>資格取得支援制度の実施</li> </ul> |
|---|---|

|  |   |
|--|---|
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>除雪計画の作成・実施</li> <li>除雪委託契約、実績取りまとめ、支払い</li> <li>除雪機械修繕、チェーン等の購入</li> <li>除雪機械のリース契約、支払い</li> <li>融雪剤の購入、配布、散布</li> <li>除雪ボランティア制度の実施</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>業者所有機械の維持管理費の補助</li> <li>消耗品(エッジ・チェーン)の実費負担</li> <li>除雪従事者への表彰規定の創設</li> <li>資格取得支援制度の創設</li> <li>本庁での除雪業務の一括管理</li> </ul> |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 除雪実施率                  | %  | 100      | 100      | 100      | 100      |
| イ 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 | %  | 66.8     | 63.7     | 63.9     | 63.9     |
| ウ                        |    |          |          |          |          |
| エ                        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) |                     | ② コストの推移 |       | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|---------------------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【消耗品費】            | 7,319千円             | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円 | 45,000   | 7,283    | 8,328    | 6,000    |
| 【修繕費】             | 15,688千円            |          | 県支出金  | 千円 | 1,504    | 977      | 1,158    | 977      |
| 【委託料】             | 259,303千円           |          | 地方債   | 千円 |          |          |          |          |
| 【賃借料】             | 8,050千円             |          | その他   | 千円 | 519      | 145      | 378      |          |
| 【材料費】             | 5,971千円 【他】 8,620千円 |          | 一般財源  | 千円 | 182,777  | 131,518  | 295,087  | 65,988   |
| <国庫支出金> 社交金       |                     |          | 事業費計  | 千円 | 229,800  | 139,923  | 304,951  | 72,965   |
| <県支出金> 流雪溝管理委託金等  |                     |          |       |    |          |          |          |          |
| <その他> 道路外除雪費負担金   |                     |          |       |    |          |          |          |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 除雪作業により、安全で迅速に通行することができるようになった。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・業者数、除雪機械のオペレーターが減少している。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>業者数の減少や縮小により、受託エリアの変更あるいは、建設事業者以外の業種への働きかけが必要。</li> <li>オペレーターについては、資格取得支援事業を活用し確保に努める。</li> </ul> |

|        |       |  |      |                  |      |                               |
|--------|-------|--|------|------------------|------|-------------------------------|
| 事務事業名  |       | 除雪機械整備事業   | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                         |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共維持G            | 課長名  | 松村 直樹                         |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 常松 優基            | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2478     |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 会計科目 | 014002<br>103002 | 大事業名 | 除雪施設等整備事業<br>中事業名<br>除雪機械整備事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| ①生活道路(除雪対象路線)の利用者<br>②生活道路(除雪対象路線)   | ①市内を安全で円滑、迅速に移動できるようにする。<br>②除雪による生活道路機能の維持管理。                                |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度<br>( 年度～ 年度 ) | 効率的な除雪体制を確保するため、除雪機械の導入を行う。   |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| 導入機種、管理体制等について入札の実施、検査、清算、納車<br>・4t級除雪機1機の購入<br>・11t級除雪機1機の購入<br>・歩道用除雪機3台の購入  | ・令和5年度は4t級、8t級それぞれ1機の除雪機、1台の歩道用除雪機を購入し、除雪体制を強化した。<br>・今後も計画的な除雪機の更新や導入が必要である。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標         | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア タイヤドーザ導入台数 | 台  | 0        | 2        | 2        | 0        |
| イ 除雪トラック導入台数 | 台  | 0        | 0        | 0        | 1        |
| ウ 歩道用小型除雪機   | 台  | 2        | 1        | 3        | 3        |
| エ            |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|                                |          |    |          |          |          |          |
|--------------------------------|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)              | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
| 【手数料】 49千円<br>【備品購入費】 31,405千円 | 国庫支出金    | 千円 |          | 14,666   | 19,323   | 25,520   |
| <国庫支出金> 社交金                    | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
| <地方債> 合併特例債                    | 地方債      | 千円 | 1,700    | 9,800    | 11,400   | 13,200   |
|                                | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|                                | 一般財源     | 千円 | 170      | 877      | 731      |          |
|                                | 事業費計     | 千円 | 1,870    | 25,343   | 31,454   | 38,720   |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 4t級、11t級1機の除雪機械、歩道用除雪機3台を購入し、除雪体制の強化が図れた。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 今後、業者数の減少や事業縮小により、業者借り上げ機械台数の減少がさらに見込まれる。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 業者保有機械に対する維持管理費への助成増や雲南市所有機械台数の増加を進める必要がある。 |

|        |           |                                     |      |  |       |              |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
|--------|-----------|-------------------------------------|------|--|-------|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|------|
| 事務事業名  | かわまちづくり事業 | 所属部                                 | 建設部  | 所属課  | 都市計画課 |              |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
| 総合計画体系 | 施策名       | (02)どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 都市計画G  | 課長名   | 藤原 昌弘        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
|        | 基本方針      | 方針外                                 | 担当者名 | 渡部 喬   | 電話番号  | 0854-40-1064 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
|        | 重点テーマ     | 重点テーマ外                              |      |  | (内線)  | 2461         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
|        |           |                                     | 予算科目 | <table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 会計    | 0            | 1 | 4 | 0 | 0 | 2 | 款 | 1 | 5 | 0 | 5 | 0 | 1 | 大事業 |  |  |  |  |  |  | 中事業 |  |  |  |  |  |  | 大事業名 |
| 会計     | 0         | 1                                   | 4    | 0  | 0     | 2            |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
| 款      | 1         | 5                                   | 0    | 5  | 0     | 1            |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
| 大事業    |           |                                     |      |  |       |              |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
| 中事業    |           |                                     |      |  |       |              |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |
|        |           |                                     |      |  | 中事業名  | かわまちづくり事業    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |     |  |  |  |  |  |  |     |  |  |  |  |  |  |      |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 雲南市民  | 市民の憩いの場の創出  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R2 年度 ~ R6 年度 ) | 平成31年3月8日に国土交通省に認定された「木次地区斐伊川かわまちづくり」計画に基づき、斐伊川河川敷公園の整備を行う。<br>・計画期間 令和2年度から令和6年度<br>・整備計画箇所 斐伊川河川敷右岸(木次町木次地内)<br>・事業主体 国土交通省 出雲河川事務所、雲南市 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| 国土交通省 出雲河川事務所協議<br>かわまちづくり協議会の開催<br>実施設計業務  | かわまちづくり協議会で事業計画を説明し、市民の意見が反映されるよう務めた。   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                           | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 河川敷公園の利用人数(クラフト・テニス・ゲートホール等) | 人  | 5,130    | 5,008    | 8,353    | 5,000    |
| イ                              |    |          |          |          |          |
| ウ                              |    |          |          |          |          |
| エ                              |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |        |
|---|----------|-------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 【地方債】合併特例債<br>報償費 67千円<br>需用費・役務費 389千円<br>工事請負費 23,566千円<br>原材料費 560千円 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       |          |          |          |        |
|   |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |        |
|   |          | 地方債   | 千円       |          |          | 900      | 22,900 |
|   |          | その他   | 千円       |          |          |          |        |
|   |          | 一般財源  | 千円       | 34       | 163      | 1,682    |        |
| 事業費計  |          | 千円    | 34       | 1,063    | 24,582   | 0        |        |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 国土交通省出雲河川事務所との協議、木次地区斐伊川かわまちづくり協議会の開催により、整備計画を更新した。<br>国土交通省出雲河川事務所の工事が実施され、芝生広場の整備が完了した。<br>斐伊川河川敷公園条例に「さくらねがい広場」として追加した。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 整備完了後の利活用の促進と維持管理対策。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 国土交通省出雲河川事務所、木次地区斐伊川かわまちづくり協議会との協議により、将来にわたり市民に活用されると共に、維持管理費が縮減される河川敷公園の整備を目指す。<br>併せて、公園利用方法、管理規則の工夫による利活用の促進を図る。        |

|        |               |  |  |      |                           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|---------------|--|--|------|---------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名  | 急傾斜地崩壊対策事業負担金 | 所属部  | 建設部  | 所属課  | 都市計画課                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
| 総合計画体系 | 施策名           | (02)どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  |  | 所属G  | 国県事業G                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 基本方針          | (004)どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 |  | 課長名  | 藤原 昌弘                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 重点テーマ         | (0005)地域における防災・減災対策の推進                               |  | 担当者名 | 坂田 洋一                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
|        |               |  |  | 電話番号 | 0854-40-1064<br>(内線) 2461 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
|        |               | 予算科目   | <table border="1"> <tr> <td>会</td><td>計</td><td>款</td><td>大</td><td>事</td><td>業</td> </tr> <tr> <td>0</td><td>1</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td> </tr> <tr> <td>項</td><td>目</td><td>中</td><td>事</td><td>業</td><td></td> </tr> <tr> <td>1</td><td>5</td><td>0</td><td>5</td><td>2</td><td>6</td> </tr> </table> | 会    | 計                         | 款 | 大 | 事 | 業 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 3 | 項 | 目 | 中 | 事 | 業 |  | 1 | 5 | 0 | 5 | 2 | 6 | 大<br>事<br>業<br>名<br>急<br>傾<br>斜<br>地<br>崩<br>壊<br>対<br>策<br>事<br>業<br><br>中<br>事<br>業<br>名<br>急<br>傾<br>斜<br>地<br>崩<br>壊<br>対<br>策<br>事<br>業<br>負<br>担<br>金 |
| 会      | 計             | 款  | 大  | 事    | 業                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
| 0      | 1             | 4  | 0  | 0    | 3                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
| 項      | 目             | 中  | 事  | 業    |                           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |
| 1      | 5             | 0  | 5  | 2    | 6                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 急傾斜地崩壊危険箇所   | 急傾斜地崩壊危険区域でのがけ崩れ災害から人命を守る。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )            | 急傾斜地崩壊対策事業の調整等<br>・県と連携し、地元調整(要望、測試、用地交渉、契約、工事等)を行う。<br>・事業負担金の会計事務   |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ・事業実施個所の地元調整等<br>【継続】掛屋B(国補助) 師弟(国補助) 下谷中(国補助) 十日市(国補助) 十日市2(国補助) 生谷(県単) 西案内現年災(県単)<br>【新規】上口(国補助) 若宮A(国補助) 大塚地区(国補助) 仁和寺1現年災(県単) 生谷現年災(県単)<br>・事業負担金の会計事務 | 事業負担金については、合併特例債、自然災害防止事業債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。<br>令和7年度までとされている「自然災害防止対策事業債」について、令和8年度以降も継続するよう国交省幹部へ要望を実施した。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標        | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 対策事業実施済箇所 | 箇所 | 65       | 65       | 67       | 67       |
| イ 整備率       | %  | 32.2     | 32.2     | 33.2     | 33.2     |
| ウ           |    |          |          |          |          |
| エ           |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                  | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |        |
|------------------------------------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 急傾斜地崩壊対策事業県負担金 36,782千円            | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       |          |          |          |        |
| 国庫事業:事業費の5~20%(内30%は地元負担)          |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |        |
| 県単事業:事業費の1/3(内20%は地元負担)            |          | 地方債   | 千円       | 1,900    | 18,200   | 26,600   | 22,000 |
| 災害関連は事業費の20%(内20%は地元負担)            |          | その他   | 千円       | 942      | 5,922    | 9,421    | 6,800  |
| 【地方債名】合併特例13,700千円<br>緊自然災12,900千円 |          | 一般財源  | 千円       | 1,141    | 439      | 761      | 1,200  |
| 【その他】地元負担金9,421千円                  | 事業費計     | 千円    | 3,983    | 24,561   | 36,782   | 30,000   |        |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 市の整備率は県の整備率(25%弱)と比較すると高いが、未だ低い水準であるので、引き続き県と連携し着実な事業進捗を図る。<br>※令和3年7月豪雨災害対応のため事業縮小されていたが、令和5年度から従前程度まで事業化された。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 受益者負担を伴う事業であり、地元全体からの事業同意を得ることが一番の問題となっている。また、県事業の円滑な進捗のためには、市の協力体制(特に事業負担金の予算化)が必要。                           |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 急傾斜地崩壊防止施設の設置には、多大な費用を要するため個人では困難であり、引き続き県事業により、市及び受益者が事業費の一部を負担して整備を行う。                                       |

|        |       |  |      |                  |      |                              |
|--------|-------|--|------|------------------|------|------------------------------|
| 事務事業名  |       | 河川維持管理事業   | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                        |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共土木G            | 課長名  | 松村 直樹                        |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 今岡 亮             | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2471    |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 会計科目 | 014002<br>151009 | 大事業名 | 河川施設管理事業<br>中事業名<br>河川維持管理事業 |
|        |       |  |      |                  |      |                              |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市民  | 生活環境を保全する。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H29 年度～ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 ) | ・市管理河川の維持管理(護岸補修や堆積土の除去等を実施する。)                                    |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)                 |
| ・市管理河川内の補修(12箇所)<br>・市管理河川の堆積土の除去(4箇所)  | ・平成27年度までは、各総合センターで事業実施に取り組んできたが、平成28年度からは、建設部建設工務課に集約し、事業を実施している。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                            | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|---------------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 環境美化等の環境保全・創造に向けて何らかの取り組みをしている市 | %  |          |          | 80.5     | 80.5     |
| 自然環境が守られていると感じる市民の割合            | %  | 73.5     | 78.2     | 57.8     | 57.8     |
|                                 |    |          |          |          |          |
|                                 |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位     | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 【内訳】<br>・修繕費(21箇所) 4,910千円<br>(市管理河川補修及び土砂撤去等)<br>・工事費(4箇所) 10,590千円<br>(市管理河川土砂撤去及び護岸修繕)<br>【地方債】緊急浚渫推進事業債 | 国庫支出金    | 千円     |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円     |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円     | 9,900    | 9,900    | 9,900    |          |
|   | その他      | 千円     |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円     | 10,399   | 2,973    | 5,600    | 3,000    |
| 事業費計  | 千円       | 20,299 | 12,873   | 15,500   | 3,000    |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・市管理河川内の補修及び堆積土の除去を行い、生活環境の保全が図られた。  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・市管理河川の浚渫など維持管理の要望が多数あるため、単年度では全ての要望に対応できない。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・緊急性の高い箇所から順次実施し、市管理河川の保全を図っている。<br>・令和2年度から令和6年度にかけては、河川維持管理計画を作成し、有利な財源である緊急浚渫推進事業債を活用し、事業の促進を図っている。 |

|        |       |  |      |                  |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 県河川浄化事業  | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 公共土木G            | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 今岡 亮             | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2471 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 予算科目 | 014002<br>151010 | 大事業名 | 河川施設管理事業<br>中事業名 県河川浄化事業  |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市民  | 生活環境を保全する。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・県管理河川の維持管理(県との委託契約により、河川敷の除草、堤防除草、堆積土の除去を実施する。)   |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県との委託契約の締結(4月)</li> <li>・除草(5月~3月)</li> <li>・堆積土の除去(11月~3月)</li> </ul> 実施河川 委託6河川 浚渫3河川 修繕1河川             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度までは各総合センターで実施していたが、平成28年度以降は建設部建設工務課で集約して実施している。</li> <li>・平成29年度より市管理河川は河川維持管理事業として分離した。また、加茂町河川愛護協会が実施していた河川除草は道路河川愛護事業へ移行した。</li> </ul> |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                   | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 環境保全に関する取り組みをしている市民の割合 | %  |          |          | 80.5     | 80.5     |
| 自然環境が守られていると感じる市民の割合   | %  | 73.5     | 78.2     | 57.8     | 57.8     |
|                        |    |          |          |          |          |
|                        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|  |          |    |          |          |          |          |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                                    | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
| 【内訳】<br>・委託料 17,240千円<br>・工事費 8,660千円<br>合計 25,900千円 | 財源内訳     | 千円 |          |          |          |          |
|  | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|  | 県支出金     | 千円 | 12,950   | 12,950   | 12,950   | 13,000   |
|  | 地方債      | 千円 |          |          |          |          |
|  | その他      | 千円 | 1,150    | 1,150    | 1,250    | 1,000    |
|  | 一般財源     | 千円 | 11,898   | 11,898   | 11,700   | 12,000   |
|  | 事業費計     | 千円 | 25,998   | 25,998   | 25,900   | 26,000   |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | ・島根県との委託契約により、県管理河川内の除草及び堆積土の除去を行い、公共水域の保全が図られた。  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・県管理河川の浚渫など維持管理の要望が多数あるため、単年度では全ての要望に対応できない。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・河川の適正な管理が求められているため、今後も島根県との委託契約により計画的に事業を実施していく。<br>・県河川であるため、市の年度計画を超える維持要望については、県で直接対応していただくよう、進達している。 |

|        |       |                                     |      |       |      |              |         |   |         |          |
|--------|-------|-------------------------------------|------|-------|------|--------------|---------|---|---------|----------|
| 事務事業名  |       | 公園施設整備事業                            | 所属部  | 建設部   | 所属課  | 都市計画課        |         |   |         |          |
| 総合計画体系 | 施策名   | (02)どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 都市計画G | 課長名  | 藤原 昌弘        |         |   |         |          |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 佐藤 俊之 | 電話番号 | 0854-40-1064 |         |   |         |          |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              |      |       | (内線) | 2462         |         |   |         |          |
|        |       |                                     | 予 算  | 会 計   | 款    | 大 事 業        | 大 事 業 名 |   |         |          |
|        |       | 科 目                                 | 0    | 1     | 4    | 0            | 0       | 2 | 大 事 業 名 | 公園施設整備事業 |
|        |       |                                     | 2    | 0     | 1    | 5            | 0       | 1 | 中 事 業 名 | 公園施設整備事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |  |
|--|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 都市公園施設   | 都市公園施設の安全性・利便性の向上  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R元 年度 ~ R10 年度 ) | 雲南市には現在7箇所の都市公園(内都市計画公園6、他1)が供用されており、当初設置された施設の中には、老朽化が著しい施設が多くある。よって、本交付金事業により、都市公園施設の長寿命化を図り、市民が安心して利用できる施設となるよう整備を図る。令和元年度において、公園施設長寿命化計画に基づき施設の改築・更新が必要となった公園を社会資本総合整備計画に位置付けて、整備を行っている。 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| R6年度現年<br>・加茂中央公園野球場本部席設計業務<br>R7年度へ繰越<br>・加茂中央公園野球場バックネット設計業務 他<br>・木次運動公園野球場照明設備解体撤去工事<br>・木次公園危険施設解体撤去工事  | かねてより改修要望のあった加茂中央公園野球場、加茂B&G海洋センター、大東公園トイレ、大東公園野球場、加茂中央公園遊具の改修工事を行っている。また、都市公園の危険施設解体工事も行っている。令和6年度に計画期間満了を迎えた公園施設長寿命化計画を見直した。   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標    | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|---------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 実施箇所数 | 箇所 | 2        | 1        | 1        | 3        |
| イ       |    |          |          |          |          |
| ウ       |    |          |          |          |          |
| エ       |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |         |
|--|----------|-------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 【地方債】合併特例債<br>【現年事業費】<br>委託費 3,491千円<br>工事費 11,374千円<br>計 14,865千円 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       | 9,218    | 11,000   | 0        | 60,931  |
|  |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |         |
|  |          | 地方債   | 千円       | 7,700    | 9,000    | 13,900   | 129,900 |
|  |          | その他   | 千円       |          |          |          |         |
|  |          | 一般財源  | 千円       | 2,051    | 11,720   | 965      | 5,034   |
|  | 事業費計     | 千円    | 18,969   | 31,720   | 14,865   | 195,865  |         |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 改修要望のあった公園施設の長寿命化対策を実施することができた。<br>老朽化による部材の剥落などにより周囲への危険が懸念されていた施設を解体中である。      |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 公園施設長寿命化計画に基づき施設の改築更新を行っているが、当初設置された施設の中には、老朽化が著しい施設が多くあるため、すべての施設に対応するには時間がかかる。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の改築更新等の整備を行う。  |

|        |       |                                     |      |  |      |                           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|-------|-------------------------------------|------|--|------|---------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名  |       | 住宅総務管理事業                            | 所属部  | 建設部  | 所属課  | 建築住宅課                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 住宅管理G  | 課長名  | 神庭和幸                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 内田慎二   | 電話番号 | 0854-40-1065<br>(内線) 2451 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | <table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table> | 会計   | 0                         | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 項 | 2 | 5 | 0 | 5 | 0 | 1 |
| 会計     | 0     | 1                                   | 4    | 0  | 0    | 1                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 項      | 2     | 5                                   | 0    | 5  | 0    | 1                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか) | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市管理住宅の入居者、入居希望者     | 入居者が安全かつ安心して生活することができる。 |

③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

|   |   |
|---|---|
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・家賃算定及び徴収事務<br>・中規模以上の修繕工事及び温水器、エアコン等の更新<br>・公営住宅火災共済保険の加入<br>・管理運営委託(指定管理)の事務<br>・市営住宅長寿命化計画の策定及びデータベースの更新 |
|---|---|

|  |  |
|--|--|
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>・毎月募集の確認及び住宅入居者からの相談対応<br>・納付書の作成及び督促状等の発送<br>・公営住宅火災共済保険の加入<br>・施設修繕(中規模以上)、温水器、エアコン等の更新<br>・住宅管理システムの公営住宅法改正対応 | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>・H26年度からは全ての市営住宅について管理代行、指定管理者制度により島根県住宅供給公社へ管理委託を行っている。<br>・徴収事務は公社の住宅相談員と連携を図っている。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標              | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 指定管理者等の管理戸数     | 戸  | 1,155    | 1,123    | 1,037    | 1,058    |
| イ 収納率(現年分)        | %  | 99.9     | 100.0    | 99.9     | 100.0    |
| ウ 年度末入居率(政策空家を除く) | %  | 87.6     | 85.5     | 84.2     | 90.0     |
| エ                 |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|   |          |    |          |          |          |          |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
| 需用費6,763千円(内修繕費6,481千円)<br>役務費3,308千円 委託料1,712千円<br>使用料及び賃借料4,093千円<br>工事費39,203千円 移転補償費2,418千円<br>還付金・還付加算金254千円<br>報酬・旅費16千円<br>【合計 57,767千円】 | 財源内訳     | 千円 | 1,273    | 0        | 289      | 1,994    |
|   | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 |          |          |          |          |
|   | その他      | 千円 | 36,573   | 31,916   | 57,478   | 43,870   |
|   | 一般財源     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 事業費計     | 千円 | 37,846   | 31,916   | 57,767   | 45,864   |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・H26年度からの全市営住宅への管理代行及び指定管理者制度の導入により、徴収事務は公社と連携を密にし、収納率の向上が図られている。また、公社と市の業務のすみ分けにより、スムーズな住宅管理となっている。<br>・公社と管理の連携を図ることにより、収納率の向上(R1~R3年度収納率100%)に繋がっている。<br>・R4年度の収納率は99.9%、R5年度の収納率は100%であった。 R6年度の収納率は99.9%であった。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・修繕箇所の増加に伴い、計画的な修繕や設備更新が必要である。<br>・滞納事務については、公社と定期的な連携による滞納者対策が必要である。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・H26年度から管理代行及び指定管理者制度を導入し、公社へ住宅管理業務を委託することにより、修繕対応を行っている。<br>・中規模以上(50万円以上)の修繕や温水器、エアコン等の修繕はこれまでどおり本事業で対応する。<br>・今後も公社と連携を密にした滞納者対策を行う。  |

|        |       |                                     |      |  |      |                           |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------|-------|-------------------------------------|------|--|------|---------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 住宅管理委託事業                            | 所属部  | 建設部  | 所属課  | 建築住宅課                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 住宅管理G  | 課長名  | 神庭和幸                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 内田慎二   | 電話番号 | 0854-40-1065<br>(内線) 2451 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | <table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </table> | 会計   | 0                         | 1 | 4 | 0 | 0 | 2 | 項 | 2 | 5 | 0 | 5 | 0 | 8 |
| 会計     | 0     | 1                                   | 4    | 0  | 0    | 2                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 項      | 2     | 5                                   | 0    | 5  | 0    | 8                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市管理住宅の入居者、入居希望者   | 入居者が安全かつ安心して生活することができる。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | H26年度より市営住宅、市営改良住宅、特定公共賃貸住宅、定住促進住宅、定住促進賃貸住宅の管理を島根県住宅供給公社へ委託(管理運営委託)している。<br>・管理代行→市営住宅(公営住宅) 26団地567戸<br>・指定管理→公営住宅以外の市営住宅 12団地204戸<br>・管理の一時返還→公社定住促進賃貸住宅 18団地266戸 |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>・施設修繕(50万円未満):受水槽や排水施設、エレベーター等の点検、施設の委託や工事請負等の住宅管理業務一式<br>・入居募集、入居・退去の手続き<br>・入居者からの相談業務<br>・徴収事務:納付書・督促状の発行、分納誓約書の作成     | (この事務事業に関してこれまでのような改革改善をしているか?)<br>H25年7月より指定管理者制度を導入し、定住促進住宅(旧雇用促進住宅3団地)について住宅供給公社へ管理の委託を行った。H26年度からは全ての市営住宅について管理委託を実施している。                                       |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                         | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 不具合等対応率                    | %  | 100.0    | 100.0    | 100.0    | 100.0    |
| イ 修繕戸数                       | 戸  | 424      | 426      | 447      | 430      |
| ウ 安心して暮らし続けられるまちであると感じる市民の割合 | %  | 71.2     | 70.4     | 69.5     | 69.5     |
| エ                            |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|  |          |       |          |          |          |          |        |
|--|----------|-------|----------|----------|----------|----------|--------|
| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |        |
| ・市営住宅等の管理代行業務委託料 36,902千円<br>・市営住宅等の指定管理業務委託料 19,074千円<br>・定住促進賃貸住宅の管理の一時返還に伴う業務委託料 31,115千円 【合計 87,091千円】 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       |          |          |          |        |
|  |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |        |
|  |          | 地方債   | 千円       |          |          |          |        |
|  |          | その他   | 千円       | 85,618   | 85,618   | 87,091   | 87,091 |
|  |          | 一般財源  | 千円       |          |          |          |        |
| 事業費計   |          | 千円    | 85,618   | 85,618   | 87,091   | 87,091   |        |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・管理代行制度、指定管理者制度を導入し、H26年4月から全ての市営住宅の管理を住宅供給公社に業務委託することにより、管理の統一化が図られた。<br>・公社と管理の連携を図ることにより、収納率の向上(R1~R3年度収納率100%)に繋がっている。<br>・R4年度の収納率は99.9%、R5年度の収納率は100%であった。<br>・R6年度の収納率は99.9%であった。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・空き部屋の期間短縮が必要である。<br>・経年劣化等による修繕箇所や更新箇所が増加している。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・公社と連携を図り、長期空室の状況把握に努める。空室が発生した場合はHPやCATV、告知放送での募集を行う。<br>・迅速に募集ができるよう入居前修繕の優先順位付けをしながら修繕を進める。   |

|        |       |  |      |                        |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 公営住宅整備事業   | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建築住宅課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 建築営繕G                  | 課長名  | 神庭 和幸                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 鬼村 幸治                  | 電話番号 | 0854-40-1065<br>(内線) 2454 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 予算科目 | 会計 014002<br>科目 251501 | 大事業名 | 公営住宅建設事業<br>中事業名 公営住宅建設事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 公営住宅   | ・住宅供給の促進<br>・老朽化した住宅ストックの計画的な更新   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R元 年度 ~ R10 年度 ) | 「雲南市公営住宅等長寿命化計画」に基づく公営住宅の建替え事業。<br>・事業期間: R元~R10年度(長寿命化計画期間)<br>・建替計画戸数: 40戸<br>三刀屋第2団地: 20戸(5棟、~R4年度)<br>中村団地: 20戸(棟数5棟、R5年度~) |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ・中村団地建設設計業務、地質調査業務、アスベスト調査業務   | 現状把握に基づき住宅ストック活用手法を定め、老朽化した公営住宅ストックの円滑な更新を図り良好な住宅ストック形成を目指すため、平成30年度に「雲南市公営住宅等長寿命化計画」を策定。                                       |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標        | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 公営住宅建替進捗率 | %  | 50       | 50       | 50       | 58       |
| イ           |    |          |          |          |          |
| ウ           |    |          |          |          |          |
| エ           |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|  |          |    |          |          |          |          |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
| ・委託料...11,563千円(地質調査、アスベスト調査)<br>・事務費...905千円<br>・計 12,468千円 | 財源内訳     | 千円 | 61,634   | 1,445    | 5,781    | 60,615   |
| ※国庫支出金: 社会資本整備総合交付金<br>地方債: 公営住宅建設事業債                        | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|  | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|  | 地方債      | 千円 | 136,900  | 0        | 5,900    | 139,000  |
|  | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|  | 一般財源     | 千円 | 862      | 1,447    | 787      | 1,732    |
|  | 事業費計     | 千円 | 199,396  | 2,892    | 12,468   | 201,347  |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 耐用年数を経過した老朽化している住宅の建替えにより、入居者の安全性確保、居住環境の向上及び住宅セーフティーネットの役割を果たすことができる。                 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 建替え事業に対する現入居者の理解と協力が必要。<br>一般財源の支出抑制に努め、適正な事業費で整備を行う。                                  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 現入居者の負担軽減を考慮した建替えを計画し、事業内容及び進捗状況の情報共有を図りながら円滑に事業を進める。<br>社会資本整備総合交付金及び地方債を活用して事業を実施する。 |

|        |       |  |      |                        |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 公営住宅除却事業   | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建築住宅課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 建築営繕G                  | 課長名  | 神庭 和幸                     |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 野津 拓真                  | 電話番号 | 0854-40-1065<br>(内線) 2453 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 予算科目 | 会計 014002<br>科目 251501 | 大事業名 | 公営住宅建設事業<br>中事業名 公営住宅建設事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 公営住宅   | ・健全な住宅を管理   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R元 年度 ~ R10 年度 ) | 「雲南市公営住宅等長寿命化計画」に基づく公営住宅の除却事業。<br>・事業期間: R元~R10年度(長寿命化計画期間)<br>・解体計画戸数: 132戸(大多和16戸、中村30戸、東谷16戸、村方6戸、基町38戸、三刀屋8戸、緑ヶ丘10戸、川井1戸、西の宮7戸) |
| ④ 主な活動   | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ・西の宮団地 3戸(3棟)(R11以降に建替えを実施予定であるが、老朽化が著しいため前倒しで除却を実施)   | 現状把握に基づき事業手法を定め、用途廃止や建替により適正な計画管理戸数を設定して良好な住宅ストック形成を目指すため、平成30年度に「雲南市公営住宅等長寿命化計画」を策定。   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標        | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 公営住宅除却進捗率 | %  | 31       | 35       | 36       | 36       |
| イ           |    |          |          |          |          |
| ウ           |    |          |          |          |          |
| エ           |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                     | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---------------------------------------|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 工事費...8,771千円                         | 国庫支出金    | 千円 | 27,723   | 2,002    | 3,950    |          |
| ※国庫支出金: 社会資本整備総合交付金<br>地方債: 公営住宅建設事業債 | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|                                       | 地方債      | 千円 | 36,700   | 16,400   | 4,800    |          |
|                                       | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|                                       | 一般財源     | 千円 | 80       | 737      | 21       |          |
|                                       | 事業費計     | 千円 | 64,503   | 19,139   | 8,771    | 0        |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 耐用年数を経過して老朽化の著しい住宅を除却することで、市民が安全安心に暮らすことができる。                     |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 老朽化が著しく周辺への危険性がある施設が増加している。<br>一般財源の支出抑制に努め、適正な事業費で整備を行う。         |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 施設の状況把握に努め、周辺に影響を及ぼす建物を優先的に対処する。<br>社会資本整備総合交付金及び地方債を活用して事業を実施する。 |

|        |       |  |      |                  |      |                              |
|--------|-------|--|------|------------------|------|------------------------------|
| 事務事業名  |       | 公営住宅等ストック改善事業  | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建築住宅課                        |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 建築営繕G            | 課長名  | 神庭 和幸                        |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 石原 優奈            | 電話番号 | 0854-40-1065<br>(内線) 2453    |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 会計科目 | 014002<br>251501 | 大事業名 | 公営住宅建設事業<br>中事業名<br>公営住宅建設事業 |
|        |       |  |      |                  |      |                              |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 公営住宅   | ・居住水準の向上(居住性向上、福祉対応、安全性確保、長寿命化、省エネルギー)  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R元 年度 ~ R10 年度 ) | 「雲南市公営住宅等長寿命化計画」に基づく公営住宅のストック改善事業(事業期間:R元~R10年度)<br>・改善計画戸数:151戸(三刀屋18戸、萱原30戸、西の原30戸、阿用10戸、深野4戸、平岩9戸、大多和10戸、三刀屋40戸)<br>・改善計画内容:住戸改善(給湯設備設置、浴室改修、手摺設置、ベランダ改修)、共用部分改善(共用階段手摺設置、共用部照明LED化) |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)   | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ・三刀屋団地40戸:ベランダ改修   | 現状把握に基づき住宅ストック活用法を定め、住宅長寿命化と管理コスト削減を図り良好な住宅ストック形成を目指すため、平成30年度に「雲南市公営住宅等長寿命化計画」を策定。   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標           | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 公営住宅住戸改善進捗率  | %  | 52       | 74       | 100      | 100      |
| イ 公営住宅共用部改善進捗率 | %  | 100      | 100      | 100      | 100      |
| ウ              |    |          |          |          |          |
| エ              |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------------------------|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 工事費...43,729千円                      | 国庫支出金    | 千円 | 1,307    | 5,463    | 17,379   |          |
| ※国庫支出金:社会資本整備総合交付金<br>地方債:公営住宅建設事業債 | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|                                     | 地方債      | 千円 | 5,300    | 11,000   | 26,300   |          |
|                                     | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|                                     | 一般財源     | 千円 | 25       | 54       | 50       |          |
|                                     | 事業費計     | 千円 | 6,632    | 16,517   | 43,729   | 0        |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 施設の老朽化による危険性を解消することにより、入居者が安全・安心に生活することができる。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 施設の長寿命化、安全性確保、居住性向上を図るために、適切な時期に計画的に改修を実施する必要がある。<br>一般財源の支出抑制に努め、適正な事業費で整備を行う。          |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 現行の公営住宅等長寿命計画における改善事業については全て完了したため、現状を把握して今後の改善計画を検討する。<br>社会資本整備総合交付金及び地方債を活用して事業を実施する。 |

|        |       |  |      |                        |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 県営住宅取得事業   | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建築住宅課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)                  | 所属G  | 住宅管理G                  | 課長名  | 神庭和幸                      |
|        | 基本方針  | <004>どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。 | 担当者名 | 内田慎二                   | 電話番号 | 0854-40-1065<br>(内線) 2451 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外   | 予算科目 | 会計 014002<br>科目 251504 | 大事業名 | 公営住宅建設事業                  |
|        |       |  |      |                        | 中事業名 | 県営住宅取得事業                  |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 県営住宅そら山団地   | 市が取得する。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・H24年3月29日締結の「県営住宅そら山団地の将来的な事業主体変更についての覚書」に基づき、建設完了後10年経過時まで雲南市が買い受けることとなっていたものである。              |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>・県営住宅そら山団地の建物を取得した。<br><br>R6年度完了   | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>・鳥根県との覚書に基づき、県営住宅そら山団地の建物を建設完了後10年経過時まで市が買い受けることとなっていたものである。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標    | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|---------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア そら山団地 | 戸  |          |          | 24       |          |
| イ       |    |          |          |          |          |
| ウ       |    |          |          |          |          |
| エ       |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                      | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ・公有財産購入費 303,232千円<br>【地方債: 公営住宅建設事業債】 | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|  | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|  | 地方債      | 千円 |          |          | 303,200  |          |
|  | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|  | 一般財源     | 千円 |          |          | 32       |          |
| 事業費計                                   | 千円       |    | 0        | 0        | 303,232  | 0        |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 県営住宅そら山団地の建物の取得が完了した。<br>今後は、雲南市営の公営住宅として引き続き低所得の住宅困窮者の住宅確保に寄与する。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 取得完了のため特になし。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 取得完了のため特になし。  |

|                     |   |                                  |                                       |
|---------------------|---|----------------------------------|---------------------------------------|
| 事務事業名 雲南広域連合負担金(消防) |   | 所属部 防災部                          | 所属課 暮らし安全室                            |
| 総合計画体系              | 施策名 <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)           | 所属G 暮らし安全G                       | 課長名 深田貴之                              |
|                     | 基本方針 <005>防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。 | 担当者名 佐々木良                        | 電話番号 0854-40-1027<br>(内線) 2352        |
|                     | 重点テーマ <0005>地域における防災・減災対策の推進                      | 会計 0 1 4 5 0 1<br>科目 0 5 0 5 2 6 | 大事業名 常備消防総務管理事業<br>中事業名 雲南広域連合負担金(消防) |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民  | 市民の生命・財産を守る。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・消防・救急業務にかかわる雲南広域連合(雲南消防本部)への負担金の支出ほか。<br>・負担金については、雲南広域連合市町負担金事務取扱要領により、基準財政需要額基礎として雲南3市町の負担割合を決定している。 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>・負担金の支払業務及び消防調整会議等への出席  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>・特になし   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標           | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 年間火災発生件数(暦年) | 件  | 22       | 21       | 17       | 15       |
| イ 年間救急搬送件数(暦年) | 件  | 1,713    | 1,741    | 1,763    | 1,600    |
| ウ              |    |          |          |          |          |
| エ              |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|  |          |         |          |          |          |          |         |
|--|----------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|
| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)<br>・消防費市町負担金： 676,992千円<br>・消防費特別市町負担金： 59,774千円<br>・高速自動車国道特別負担金： 5,930千円<br><b>【財源】</b><br>地方債：過疎債(高規格救急自動車)<br>その他：前年度精算金 | ② コストの推移 | 単位      | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |         |
|  |          | 財源内訳    | 国庫支出金    | 千円       |          |          |         |
|  |          | 県支出金    | 千円       |          |          |          |         |
|  |          | 地方債     | 千円       | 81,100   |          | 20,800   | 33,300  |
|  |          | その他     | 千円       | 7,203    | 8,045    |          |         |
|  |          | 一般財源    | 千円       | 709,118  | 687,946  | 721,896  | 696,378 |
| 事業費計   | 千円       | 797,421 | 695,991  | 742,696  | 729,678  |          |         |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・雲南広域連合(雲南消防本部)が行う消防業務に関する負担金を支出。<br>・雲南消防本部は、雲南、奥出雲、飯南の3消防署、消防吏員116名、配備車両22台体制【R7.4.1現在】で、雲南3市町の消防業務を担っている。                             |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・火災をはじめとした災害発生時における常備消防と非常備消防とのさらなる連携強化が必要。<br>・国においては、限られた人員・財源の中でさらなる消防力の充実・強化を図る観点から、常備消防組織の広域化を推進している。<br>・今後通信指令システム(指令台)の更新が必要となる。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・消防調整会議をはじめ、消防本部と消防団との連絡会議等により、災害発生時等における連携強化について協議を行っている。   |

|        |       |  |      |                  |      |                                 |
|--------|-------|--|------|------------------|------|---------------------------------|
| 事務事業名  |       | 非常備消防総務管理事業                                  | 所属部  | 防災部              | 所属課  | くらし安全室                          |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)          | 所属G  | くらし安全G           | 課長名  | 深田貴之                            |
|        | 基本方針  | <005>防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。 | 担当者名 | 佐々木良             | 電話番号 | 0854-40-1027<br>(内線) 2352       |
|        | 重点テーマ | <0005>地域における防災・減災対策の推進                       | 会計科目 | 014502<br>051001 | 大事業名 | 非常備消防総務管理事業<br>中事業名 非常備消防総務管理事業 |
|        |       |  |      |                  |      |                                 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| ①市民<br>②消防団、消防団員  | ①生命・財産を火災・災害から守る。<br>②消防団員を確保する。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・市消防団の運営に関する事業。<br>・消防団幹部会等における消防団活動に係る協議調整のほか、団員報酬、出勤手当、分団運営手当、機械器具手当等の支払いや活動服等消耗品の購入などを実施。                       |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| ・消防団活動に伴う団員報酬、分団運営費、出勤手当等の支払い、被服等消耗品の経費支出。<br>・消防団幹部会等の会議の開催。   | ・社会情勢の変化から団員確保が困難になっている状況から、消防団組織再編検討に基づき、団員定員の削減(1,442人⇒1,212人)、分団及び部の統廃合(32分団88部⇒27分団74部)を実施し、R3.4月から新組織体制に移行した。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標            | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 年間火災発生件数(暦年)  | 件  | 22       | 21       | 17       | 15       |
| イ 条例定員          | 人  | 1,212    | 1,212    | 1,212    | 1,212    |
| ウ 実団員数(翌日4/1の値) | 人  | 1,102    | 1,079    | 1,035    | 1,040    |
| エ 団員充足率         | %  | 90.9     | 89.0     | 85.4     | 85.8     |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) |          | ② コストの推移 |       | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| ・団員報酬             | 40,046千円 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円 |          |          |          |          |
| ・退職報償金等           | 18,965千円 |          | 県支出金  | 千円 |          |          |          |          |
| ・分団運営手当、機械器具手当    | 5,160千円  |          | 地方債   | 千円 |          |          |          |          |
| ・出勤報酬             | 13,180千円 |          | その他   | 千円 | 20,027   | 28,408   | 18,005   | 29,507   |
| ・活動服等消耗品他         | 1,636千円  |          | 一般財源  | 千円 | 56,936   | 62,277   | 60,982   | 58,400   |
| 計                 | 78,987千円 |          | 事業費計  | 千円 | 76,963   | 90,685   | 78,987   | 87,907   |
| 【財源】<br>その他：退職報償金 |          |          |       |    |          |          |          |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・地域防災の担い手である消防団活動を維持することで、市民の安全で安心な生活の確保に寄与している。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・人口減少、高齢化や就業形態の変化にともない、消防団員の確保が困難になっている。<br>・国において消防団員の報酬等の基準が定められるなど、消防団員の処遇改善が求められている。<br>・消防操法大会に向けた訓練の見直しなど、消防団員の負担軽減が求められている。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・令和3年4月から新組織体制に移行したが、引き続き消防団員確保による地域防災力の維持に向け、消防団と協議しつつ対応していく。<br>・消防団員の負担軽減については、今後も消防団とともに検討を行っていく。                              |

|        |       |                                     |      |                         |         |                                |
|--------|-------|-------------------------------------|------|-------------------------|---------|--------------------------------|
| 事務事業名  |       | 消防施設解体撤去事業                          | 所属部  | 三刀屋総合センター               | 所属課     | 自治振興課                          |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 自治振興グループ                | 課長名     | 味田 晃子                          |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 山根 智憲                   | 電話番号    | 0854-45-2111<br>(内線) 4304      |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 会計 014502<br>項 目 051503 | 大 事 業 名 | 消防施設管理事業<br>中 事 業 名 消防施設解体撤去事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 防災行政無線設備  | 280MHzデジタル同報無線システムへの移行による旧防災行政無線の撤去  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | 令和3年10月に280MHzデジタル防災行政無線システムが運用開始されたことから、旧三刀屋町で整備した防災行政無線の送受信施設、屋外子局等の解体撤去を行う。   |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| 旧三刀屋町で整備した防災行政無線送受信施設、屋外子局等の解体撤去  | 旧三刀屋町において農業情報等の連絡機能の充実、災害等緊急情報の迅速・確かな伝達を目的に、農林水産省の補助を受け令和5年度に整備された。無線による定時放送は平成21年度で終了し、戸別受信機の撤去を行なった。令和3年度まで無線免許を継続し、可能な限り機能を維持できるよう保守点検を行ってきた。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標    | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|---------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 解体完了率 | %  |          |          | 100      |          |
| イ       |    |          |          |          |          |
| ウ       |    |          |          |          |          |
| エ       |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算) |          | ② コストの推移 |       | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|-------------------|----------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| 工事請負費             | 20,512千円 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円 |          |          |          |          |
| 【地方債】合併特例債        | 19,400千円 |          | 県支出金  | 千円 |          |          |          |          |
|                   |          |          | 地方債   | 千円 |          |          | 19,400   |          |
|                   |          |          | その他   | 千円 |          |          |          |          |
|                   |          |          | 一般財源  | 千円 |          |          | 1,112    |          |
| 事業費計              |          |          | 千円    |    | 0        | 0        | 20,512   | 0        |

2 事後評価【SEE】

|                 |                                     |
|-----------------|-------------------------------------|
| ① 事業実績における成果    | 無線施設に係る土地賃貸借契約が解消されることにより借地料が削減される。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 令和7年3月31日をもって、撤去完了。                 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 特になし。                               |

|        |       |  |      |                  |      |                              |
|--------|-------|--|------|------------------|------|------------------------------|
| 事務事業名  |       | 防火水槽整備事業                                     | 所属部  | 防災部              | 所属課  | くらし安全室                       |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)          | 所属G  | くらし安全G           | 課長名  | 深田貴之                         |
|        | 基本方針  | <005>防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。 | 担当者名 | 佐々木良             | 電話番号 | 0854-40-1027<br>(内線) 2352    |
|        | 重点テーマ | <0005>地域における防災・減災対策の推進                       | 予算科目 | 014503<br>051501 | 大事業名 | 消防施設整備事業<br>中事業名<br>防火水槽整備事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民  | 防火施設の整備を推進し、適正に消防防災施設を利用できるようにする。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・自治会からの要望に基づき耐震性地下式防火水槽(40t級)を整備する事業。<br>・地元分担金は工事費の5%以内。   |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br>耐震性地下式貯水槽(40t級)整備<br>(事業費の内訳に記載)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>・地元分担金を平成24年度に事業費の10%から5%に改定し、県の中山間地総合整備事業の負担と同程度とした。 |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標     | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 防火水槽の数 | 箇所 | 702      | 704      | 705      | 706      |
| イ 設置数    | 箇所 | 1        | 2        | 1        | 1        |
| ウ        |    |          |          |          |          |
| エ        |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|-------|----------|----------|----------|----------|
| 耐震性地下式貯水槽 (40 t 級)<br>須賀地区 1基 14,502千円<br>【財源】<br>地方債：緊急防災・減災事業債<br>その他：地元負担金 | 国庫支出金    | 千円    |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円    |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円    | 7,900    | 17,800   | 13,700   | 11,400   |
|   | その他      | 千円    | 419      | 941      | 725      | 600      |
|   | 一般財源     | 千円    | 65       | 93       | 77       | 0        |
| 事業費計  | 千円       | 8,384 | 18,834   | 14,502   | 12,000   |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・市内1か所に新たな地下式耐震性貯水槽(40t級)を整備し、消防水利の確保を行った。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・自治会等からの防火水槽の設置要望が逐次寄せられるが、近年、設置を希望される場所の条件が悪いところが多く、湧水処理など追加工事の発生により費用が増加する傾向にある。<br>・設計業務等については他部局の技術職員の協力により対応しているが、円滑な事業推進を図る上では外部委託等も検討していく必要がある。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・防火水槽が設置できる場所の要件をあらためて周知するとともに、現地確認により設置が困難と判断される場合には設置場所の再検討を依頼している。<br>・設置場所の調整にあたっては、地元消防団や消防署等にも見解を求めるとともに、より適切な場所への設置を検討する。                       |

|        |       |  |      |                        |      |                           |
|--------|-------|--|------|------------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 消防機器整備事業                                     | 所属部  | 防災部                    | 所属課  | くらし安全室                    |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)          | 所属G  | くらし安全G                 | 課長名  | 深田貴之                      |
|        | 基本方針  | <005>防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。 | 担当者名 | 佐々木良                   | 電話番号 | 0854-40-1027<br>(内線) 2352 |
|        | 重点テーマ | <0005>地域における防災・減災対策の推進                       | 予算科目 | 会計 014503<br>科目 051502 | 大事業名 | 消防施設整備事業<br>中事業名 消防機器整備事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| ポンプ車、小型動力ポンプ付積載車  | 火災発生時に円滑な消火活動ができる。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) | ・消防団車両(消防ポンプ車、小型動力ポンプ付積載車)及び小型動力ポンプ等の更新及び修繕に関する事業。<br>・更新計画に基づき単年度あたり3~5台の更新を実施。 |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| ・小型ポンプ付軽積載車更新1台 (加茂中分団第1部)<br>・ポンプ車 更新1台 (掛合南分団第1部)<br>・小型ポンプ付軽積載車貸与1台 (加茂西分団第2部)<br>・防火服等購入 26着  | ・令和2年10月に消防団車両等の更新計画を策定。導入後25年を目途に車両等の更新を図る方針。                                   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標         | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|--------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 消防団車両      | 台  | 83       | 83       | 83       | 83       |
| イ 消防団車両等更新件数 | 件  | 5        | 4        | 3        | 4        |
| ウ 運転免許資格取得支援 | 件  | -        | -        | 0        | 1        |
| エ            |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)      | ② コストの推移 | 単位    | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |        |
|------------------------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|--------|
| ・軽積載車更新 7,898千円        | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円       |          |          |          |        |
| ・ポンプ車更新 29,700千円       |          | 県支出金  | 千円       |          |          |          |        |
| ・耐火服購入 2,148千円         |          | 地方債   | 千円       | 30,400   | 26,500   | 33,600   | 39,900 |
| ・その他 573千円             |          | その他   | 千円       |          |          |          | 600    |
| 計 40,319千円             |          | 一般財源  | 千円       | 5,902    | 5,262    | 6,719    | 3,678  |
| 【財源】<br>地方債：緊急防災・減災事業債 | 事業費計     | 千円    | 36,302   | 31,762   | 40,319   | 44,178   |        |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | ・消防車両等更新計画に基づき更新を行った。<br>また、修理が必要となった小型ポンプの修繕を適宜実施した。  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | ・道路交通法の改正により、平成29年3月12日以降に普通運転免許を取得した消防団員では車両総重量が3.5トンを超えるポンプ車等が運転できない。令和2年度からの発注車両はAT車であるが、全体的にはMT車が多い状況。         |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | ・消防団の状況を踏まえながら、適切な車両及び装備品の導入を検討する。<br>・令和6年度から平成29年3月12日以降に普通運転免許を取得した団員に対する運転免許資格取得支援事業(準中型免許取得支援・AT限定解除経費支援)を開始。 |

|        |       |  |      |                  |      |                                 |
|--------|-------|--|------|------------------|------|---------------------------------|
| 事務事業名  |       | デジタル防災無線管理事業                                 | 所属部  | 防災部              | 所属課  | 防災安全課                           |
| 総合計画体系 | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)          | 所属G  | 防災安全G            | 課長名  | 宮川 勉                            |
|        | 基本方針  | <005>防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。 | 担当者名 | 田部雄二             | 電話番号 | 0854-40-1027<br>(内線) 2351       |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                                       | 会計科目 | 014502<br>052507 | 大事業名 | 災害対策総務管理事業<br>中事業名 デジタル防災無線管理事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 市民  | 無線による通信手段確保により防災情報を円滑に伝達することで、災害時の被害抑制を図る。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( R3 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )  | ・災害時等における市民への円滑な情報伝達を図るためのデジタル防災無線(280MHzデジタル同報無線システム)の運用管理に関する事業。   |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯   |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線による注意喚起、避難情報、火災情報等緊急情報の配信。</li> <li>・防災無線設備の維持管理に関する経費の支出等。</li> <li>・落雷被害等による送信局、屋外スピーカーの修繕。</li> </ul> ※8/24落雷被害修繕について、R7年度に追加修繕が必要となり、市有建物震災共済金はR7年度での一括支払いとなったため、R6年度決算は対象経費を一般財源として記載。(対象経費4,385,700円) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3 世帯等に貸与した戸別受信機の管理の円滑化を図る観点から、住基情報と連携した管理システムを導入。</li> <li>・R4 戸別受信機の追加購入(有償譲渡、被災による消失分)。</li> <li>・R5 SNS(LINE、Facebook)連携機能追加</li> <li>・R6 受信が困難な世帯への高利得アンテナ貸与による不感解消。</li> </ul> |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標            | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 防災無線による情報発信回数 | 回  | 97       | 71       | 84       | 100      |
| イ 戸別受信機貸与件数     | 台  | 11,235   | 11,410   | 11,168   | 11,100   |
| ウ               |    |          |          |          |          |
| エ               |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                           |          | ② コストの推移 |       | 単位     | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|----------|-------|--------|----------|----------|----------|----------|
| ・防災無線システム維持管理委託料                            | 13,690千円 | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円     |          |          |          |          |
| ・戸別受信機管理システム保守料                             | 43千円     |          | 県支出金  | 千円     |          |          |          |          |
| ・需用費、借地料                                    | 2,428千円  |          | 地方債   | 千円     |          |          |          |          |
| ・役員費(通信運搬費等)等                               | 9千円      |          | その他   | 千円     | 17,991   | 16,362   | 17,034   | 19,270   |
| ・施設修繕                                       | 5,250千円  |          | 一般財源  | 千円     |          |          | 4,386    |          |
| 計   | 21,420千円 | 事業費計     | 千円    | 17,991 | 16,362   | 21,420   | 19,270   |          |
| 【財源:原子力防災基金繰入金、デジタル防災無線管理費負担金、戸別受信機有償譲渡負担金】 |          |          |       |        |          |          |          |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域を対象としたデジタル防災無線(280MHzデジタル同報無線システム)を整備し、令和3年10月1日から運用を開始した。</li> <li>・市から発信する防災情報及び火災等の緊急情報について、防災無線を活用して情報伝達を図った。</li> <li>・市内に居住する世帯に貸与している戸別受信機の管理徹底のため、住基システムと連携した管理システムの整備を行った。</li> <li>・SNS連携(LINE、フェイスブック)により情報伝達の多重化を図った。</li> </ul> |
| ② 事業実施するうえでの課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全世帯への戸別受信機貸与に向けた周知と、受信状況の把握を継続する必要がある。</li> <li>・市民への情報伝達手段の拡充ができたが、音声告知放送との役割分担など、防災無線の運用方法の継続的な検討が必要。</li> <li>・民間アパートなどの自治会未加入世帯への戸別受信機貸与の推進。</li> </ul>  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線システムの適切な運用のため継続的な検討を行う。</li> <li>・市報への掲載や、転入手続きを通じて市内全世帯への戸別受信機貸与に向け周知徹底を図っていく。</li> <li>・民間アパート管理者と設置について協議を行う。</li> </ul>  |

|        |       |  |      |                         |      |                             |
|--------|-------|--|------|-------------------------|------|-----------------------------|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 原子力災害対策事業                                    | 所属部  | 防災部                     | 所属課  | 原子力防災対策室                    |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災)          | 所属G  | 原子力防災対策G                | 課長名  | 多根 英志                       |
|        | 基本方針  | <005>防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。 | 担当者名 | 多根 英志                   | 電話番号 | 0854-40-1027<br>(内線) 2351   |
|        | 重点テーマ | <0005>地域における防災・減災対策の推進                       | 予算科目 | 会計 014506<br>項 目 052501 | 大事業名 | 原子力災害対策事業<br>中事業名 原子力災害対策事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 市民  | 原子力災害が発生し、広域避難が必要となった場合に、安全に避難できるようにする。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H24 年度 ~ )<br><input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )     | 島根原子力発電所において、原子力事故および原子力災害が発生した場合に備えて、雲南市地域防災計画(原子力災害対策編)および雲南市広域避難計画を策定し、原子力災害発生時に備えるほか、島根県原子力防災訓練への参画、地域防災計画や備蓄品の整備など、自然災害も含めた対策を行っている。 |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| ①原子力発電所環境安全対策協議会の開催 ②国および県主催会議への出席 ③原子力防災訓練の実施 ④中国電力島根原子力本部との調整 ⑤島根原子力発電所の視察 ⑥各種研修会への出席 ⑦雲南市地域防災計画の修正 ⑧雲南市安全安心メール、POTEKA、Jアラート、衛星携帯電話等の維持管理 ⑨防災備蓄品の購入 | 特になし。   |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標                    | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 | %  | 36       | 36       | 51       | 38       |
| アイウエ                    |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   |      | ② コストの推移 |       | 単位     | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|------|----------|-------|--------|----------|----------|----------|----------|
| [主な支出]<br>防災会議等委員報酬、気象防災アドバイザー報酬等:723千円、防災備蓄品購入(1,646千円)等消耗品:2,491千円、安全安心メール利用料(1,426千円)、衛星携帯電話使用料(453千円)等通信費:2,569千円、J-ALERT受信設備点検料(616千円)等手数料:944千円、POTEKAデータ使用料(5,940千円)等:6,609千円【財源:原子力防災基金繰入金】 |      | 財源内訳     | 国庫支出金 | 千円     |          |          |          |          |
|   | 県支出金 |          | 千円    |        |          |          |          |          |
|   | 地方債  |          | 千円    |        |          |          |          |          |
|   | その他  |          | 千円    | 11,011 | 12,282   | 13,336   | 24,301   |          |
|   | 一般財源 |          | 千円    |        |          |          |          |          |
|   |      | 事業費計     | 千円    | 11,011 | 12,282   | 13,336   | 24,301   |          |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 雲南市原子力発電所環境安全対策協議会を開催したほか、島根県原子力発電所環境安全対策協議会へ参画し、各方面の方々と意見交換を行った。令和6年11月に島根県原子力防災訓練を行い、初動対応訓練、雲南市災害対策本部運営訓練、広報活動訓練および学校等の避難措置等訓練等を実施し、災害事象の進展に伴う対応手順の確認ができた。また、雲南市では三度目となる県外への広域避難訓練を実施し、広島県三原市にて避難経路所運営訓練、避難所運営訓練および原子力防災学習会を実施した。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 令和7年1月に島根原子力発電所2号機が営業運転を再開し、より細やかな原子力防災業務の実施が求められる。また、同1号機の廃止措置、および同3号機の稼働に向けた新規制基準適合性に係る審査など、状況が進展していく中で、原子力災害もいつ発生するか分からないため、原子力防災訓練の実施、広域避難受け入れに係る自治体協議等により、啓発や対策を推進していく必要がある。   |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 原子力災害は特殊な災害であり、国、県および関係自治体との情報共有や連携等により、原子力災害に備え万全な対策がとれるよう取り組んでいく必要がある。また、島根原子力発電所1号機、同2号機および同3号機の動向の注視、原子力防災訓練の実施、広域避難受け入れ自治体との協議・調整、資機材の確保、市民に対する広報・啓発など、多岐にわたる取り組みを積み重ねながら成果を向上させていく必要がある。                                      |

|        |       |                                     |  |      |                  |      |                           |
|--------|-------|-------------------------------------|--|------|------------------|------|---------------------------|
| 事務事業名  |       | 市道多久和六重線道路施設災害復旧事業                  |  | 所属部  | 建設部              | 所属課  | 建設工務課                     |
| 総合計画体系 | 施策名   | 〈02〉どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) |  | 所属G  | 道路改良G            | 課長名  | 松村 直樹                     |
|        | 基本方針  | 方針外                                 |  | 担当者名 | 内田貴宏             | 電話番号 | 0854-40-1063<br>(内線) 2473 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              |  | 予算科目 | 015503<br>101002 | 大事業名 | 現年公共土木施設災害復旧事業            |
|        |       |                                     |  |      |                  | 中事業名 | 多久和六重線道路施設災害復旧事業          |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 災害発生箇所  | 道路の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R6 年度 ~ R8 年度 ) | 本路線は飯石地区と中野地区の集落間を結ぶ生活道路として、重要な役割を担っている。また、市の観光スポットである雲見滝への唯一のアクセス道でもあり、地域に欠かせない道路である。令和5年6月に発生した地すべり災害により、利用者は大きく迂回を余儀なくされていることから、早期の復旧が望まれている。整備延長 L=87m 幅員 W=5.0m |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| ・多久和六重線道路施設災害復旧工事<br>工事期間 R6~R8<br>・用地取得<br>・立木補償<br>・仮設工   | 設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標             | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 復旧率(出来高/全体工事費) | %  | 0        | 0        | 10.2     | 56.0     |
| イ                |    |          |          |          |          |
| ウ                |    |          |          |          |          |
| エ                |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【地方債】災害復旧債<br>(工事費) 150,000千円<br>(用地費) 1,024千円<br>(補償費) 3,596千円<br>(事務費) 801千円<br>(合計) 155,421千円 | 国庫支出金    | 千円 |          |          | 127,561  | 420,877  |
|  | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|  | 地方債      | 千円 |          |          | 27,800   | 243,100  |
|  | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|  | 一般財源     | 千円 |          | 92,170   | 60       | 22,223   |
| 事業費計   | 千円       |    | 0        | 92,170   | 155,421  | 686,200  |

2 事後評価【SEE】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果    | 令和6年5月に災害査定を受け、10月より工事に着手した。工事期間は令和8年度末までの3ヶ年を予定している。令和6年度は、伐採工や工事用道路などの仮設工を主として行った。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 道路施設の一部は崩土で被災状況が確認できないため、崩土撤去後に再度申請する必要がある。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 地すべり内での工事となるため、安全対策を十分におこなう。また、工程管理をしっかりおこない、工期内の完了を目指す。                             |

|        |       |                                     |      |                        |      |                                       |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------------|------|---------------------------------------|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 公共土木施設災害復旧事業(R6災)                   | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建設工務課<br>(災害復興T)                      |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 災害復興G                  | 課長名  | 今岡 久                                  |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 伊藤 大輔                  | 電話番号 | 0584-40-1062<br>(内線) 2474             |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 会計 015503<br>科目 101001 | 大事業名 | 現年公共土木施設災害復旧事業<br>中事業名 現年公共土木施設災害復旧事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 災害発生箇所  | 道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R6 年度 ~ R7 年度 ) | 市管理道路・河川の被災箇所の復旧工事を実施する。(R6年発生分)<br>【災害復旧基準】<br>・日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上<br>・河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。<br>・補助対象事業費は60万円以上である。 |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| <R6災><br>R6現年 測量設計委託23箇所発注・完了<br>工事7箇所発注→1箇所完了、6箇所R7へ繰越<br>R7現年 16箇所発注  | 日常の道路・河川点検が必要であり、職員によるパトロールを実施した。<br>災害調査、測量設計については外部委託を行い事務の軽減を図った。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標            | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 発注率           | %  |          |          | 30       | 100      |
| イ 完了箇所数(全体23箇所) | 箇所 |          |          | 1        | 22       |
| ウ 完了率           | %  |          |          | 4        | 100      |
| エ               |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【R6現年(R6災)】<br>委託費:18,215千円、工事費:3,735千円、<br>補償費:873千円<br>計:22,823千円<br>※地方債:災害復旧事業債 | 国庫支出金    | 千円 |          |          | 5,795    | 117,670  |
|   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 |          |          | 17,000   | 50,800   |
|   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円 |          |          | 28       | 9,606    |
| 事業費計  | 千円       |    | 0        | 0        | 22,823   | 178,076  |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 被災した箇所の現地調査、査定申請を速やかに行い全箇所の査定決定を受けることができた。<br>復旧工事については7箇所の発注を完了させ、残す16箇所についてもR7年度早期に発注し完了に向け調整を行う。 |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 被災状況を把握する上で、迅速な被災箇所の把握と情報整理が課題。<br>また、令和3年災の残工事があり施工業者の負担が過大となる。                                    |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 日頃の道路・河川パトロールにより異常箇所の有無を把握するとともに、災害発生時の報告ルールや調査体制、災害情報管理システムの運用見直しを図った。<br>また、発注調整を行い業者の負担軽減を図った。   |

|        |       |                                     |      |                        |      |                                     |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------------|------|-------------------------------------|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 公共土木施設災害復旧事業(R5災)                   | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建設工務課<br>(災害復興T)                    |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 災害復興G                  | 課長名  | 今岡 久                                |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 伊藤 大輔                  | 電話番号 | 0584-40-1062<br>(内線) 2474           |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 会計 015501<br>科目 101002 | 大事業名 | 公共土木施設災害復旧事業<br>中事業名 過年公共土木施設災害復旧事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|  |   |
|--|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)  | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 災害発生箇所   | 道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度( R5 年度~ R6 年度 ) | 市管理道路・河川の被災箇所の復旧工事を実施する。(R5年発生分)<br>【災害復旧基準】<br>・日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上<br>・河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。<br>・補助対象事業費は60万円以上である。 |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)<br><R5災><br>R6現年 14箇所発注→14箇所完了  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)<br>日常の道路・河川点検が必要であり、職員によるパトロールを実施した。<br>災害調査、測量設計については外部委託を行い事務の軽減を図った。    |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標            | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|-----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 発注率           | %  |          | 93       | 100      |          |
| イ 完了箇所数(全体14箇所) | 箇所 |          | 0        | 14       |          |
| ウ 完了率           | %  |          | 0        | 100      |          |
| エ               |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

|   |          |    |          |          |          |          |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)   | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
| 【R6現年(R5災)】<br>工事費:75,609千円、補償費:1,231千円、<br>事務費:2,082千円<br>計:78,922千円<br>※地方債:災害復旧事業債 | 財源内訳     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 国庫支出金    | 千円 |          | 2,935    | 45,698   |          |
|   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 |          | 10,500   | 24,300   |          |
|   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円 |          | 605      | 8,924    |          |
|   | 事業費計     | 千円 | 0        | 14,040   | 78,922   | 0        |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 工事監督・進捗把握に努めるとともに適宜業者との協議を行い早期完了に向け調整を図った。<br>これにより全箇所の復旧が完了し安全性を確保した。                            |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 被災状況を把握する上で、迅速な被災箇所の把握と情報整理が課題。<br>また、令和3年災の残工事があり施工業者の負担が過大となる。                                  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 日頃の道路・河川パトロールにより異常箇所の有無を把握するとともに、災害発生時の報告ルールや調査体制、災害情報管理システムの運用見直しを図った。<br>また、発注調整を行い業者の負担軽減を図った。 |

|        |       |                                     |      |                        |      |   |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------------|------|---|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 公共土木施設災害復旧事業(R3災)                   | 所属部  | 建設部                    | 所属課  | 建設工務課<br>(災害復興T)                          |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 災害復興G                  | 課長名  | 今岡 久                                      |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 伊藤 大輔                  | 電話番号 | 0584-40-1062<br>(内線) 2474                 |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 会計 015504<br>科目 101004 | 大事業名 | 過年公共土木施設災害復旧事業<br>中事業名 令和3年過年公共土木施設災害復旧事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |   |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)   |
| 災害発生箇所  | 道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。  |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |   |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R7 年度 ) | 市管理道路・河川の被災箇所の復旧工事を実施する。(R3年発生分)<br>【災害復旧基準】<br>・日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上<br>・河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。<br>・補助対象事業費は60万円以上である。 |
| ④ 主な活動  | ⑤ これまでの改革・改善経緯  |
| R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)  |
| <R3災><br>R4繰越 繰越分3箇所完了<br>R5繰越 繰越分4箇所完了<br>R6現年 59箇所発注→24箇所完了、35箇所R7へ繰越   | 日常の道路・河川点検が必要であり、職員によるパトロールを実施した。<br>災害調査、測量設計については外部委託を行い事務の軽減を図った。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標             | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 発注率(年度末時点)     | %  | 78       | 93       | 100      | 100      |
| イ 完了箇所数(全体280箇所) | 箇所 | 149      | 62       | 31       | 35       |
| ウ 完了率(年度末時点)     | %  | 54       | 76       | 88       | 100      |
| エ                |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)  | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算)  | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|--|----------|----|-----------|----------|----------|----------|
| 【R4事故(R3災)】工事費:109,166千円、補償費:2,533千円 計:111,699千円                       | 国庫支出金    | 千円 | 932,224   | 484,496  | 529,333  | 456,721  |
| 【R5繰越(R3災)】工事費:67,432千円 計:67,432千円                                     | 県支出金     | 千円 |           |          |          |          |
| 【R6現年(R3災)】工事費:444,123千円、補償費:546千円、委託費:1,980千円、事務費:7,367千円 計:454,016千円 | 地方債      | 千円 | 147,400   | 70,000   | 83,000   | 86,200   |
| ※地方債:災害復旧事業債   | その他      | 千円 |           |          |          |          |
|  | 一般財源     | 千円 | 5,829     | 7,837    | 20,814   | 20,115   |
|  | 事業費計     | 千円 | 1,085,453 | 562,333  | 633,147  | 563,036  |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 工事監督・進捗把握に努めるとともに適宜業者との協議を行い早期完了に向け調整を図った。<br>これにより約90%の箇所の復旧が完了し安全性を確保した。  |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 令和3年災においては被災箇所が多いことから情報が錯そうし災害発生直後の被災状況把握に時間を要した。<br>また、他事業の復旧工事も含めると被災箇所が非常に多く、施工業者の負担が過大となる。  |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 被災状況把握においては、日頃の道路・河川パトロールを行い異常箇所の有無を把握するとともに、災害発生時の報告ルールや調査体制の見直しを行った。今後は被災状況調査を行う業者との協定の拡大や、ドローン等のICT機器を活用し効率的な状況把握に努める。<br>また、進捗管理を行い負担の大きい業者への応援要請など働きかける。 |

|        |       |                                     |      |                  |              |                                      |
|--------|-------|-------------------------------------|------|------------------|--------------|--------------------------------------|
| 総合計画体系 | 事務事業名 | 公共土木施設単独災害復旧事業(R3災)                 | 所属部  | 建設部              | 所属課          | 建設工務課<br>(災害復興T)                     |
|        | 施策名   | <02>どこでも安心して暮らせるまち(交通/インフラ/土地利用/防災) | 所属G  | 災害復興G            | 課長名          | 今岡 久                                 |
|        | 基本方針  | 方針外                                 | 担当者名 | 板持 大悟            | 電話番号         | 0584-40-1062<br>(内線) 2475            |
|        | 重点テーマ | 重点テーマ外                              | 予算科目 | 015502<br>101003 | 大事業名<br>中事業名 | 公共土木施設単独災害復旧事業<br>令和3年公共土木施設単独災害復旧事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

|   |  |
|---|--|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか)   | ② 意図(対象がどのような状態になるのか)  |
| 災害発生箇所  | 道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。   |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)   |  |
| 事業期間<br><input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R7 年度 ) | ・公共土木施設単独災害復旧事業は、市管理の河川、道路が異常な天然現象により被災を受けた場合、復旧するものである。<br>・この事業の主な基準としては、日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上で、河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要である。<br>・また、対象事業費は60万円未満である。(事業費60万円以上は国庫補助対象) |
| ④ 主な活動<br>R6年度実績(R6年度に行った主な活動)  | ⑤ これまでの改革・改善経緯<br>(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)   |
| <R3災><br>R6現年 工事54箇所発注→54箇所完了<br>(道路:31箇所、河川:23箇所)  | ・道路の安全確保や円滑な通行確保のため、道路の日常の点検が必要であり、職員による道路パトロールを実施している。  |

(2) 事務事業の成果指標

| 成果指標             | 単位 | R4年度(実績) | R5年度(実績) | R6年度(実績) | R7年度(計画) |
|------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 発注率            | %  | 68       | 85       | 94       | 100      |
| イ 完了箇所数(全体635箇所) | 箇所 | 120      | 109      | 54       | 38       |
| ウ 完了率            | %  | 68       | 85       | 94       | 100      |
| エ                |    |          |          |          |          |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R6年度決算)                           | ② コストの推移 | 単位 | R4年度(決算) | R5年度(決算) | R6年度(決算) | R7年度(計画) |
|---|----------|----|----------|----------|----------|----------|
| 【R6現年(R3災)】<br>工事費:55,252千円<br>※地方債:災害復旧事業債 | 国庫支出金    | 千円 |          |          |          |          |
|   | 県支出金     | 千円 |          |          |          |          |
|   | 地方債      | 千円 | 93,000   | 114,100  | 55,200   | 50,000   |
|   | その他      | 千円 |          |          |          |          |
|   | 一般財源     | 千円 | 7,000    | 141      | 52       |          |
| 事業費計  |          | 千円 | 100,000  | 114,241  | 55,252   | 50,000   |

2 事後評価【SEE】

|                 |   |
|-----------------|---|
| ① 事業実績における成果    | 工事進捗の把握に努め、適宜業者との協議を行い早期完了に向け調整を図った。これにより94%の箇所の復旧が完了し安全性を確保した。   |
| ② 事業実施するうえでの課題  | 令和3年災においては被災箇所が多いことから情報が錯そうし、災害発生直後の被災状況把握に時間を要した。<br>また、他事業の復旧工事も含めると被災箇所が非常に多く、施工業者の負担が過大となる。             |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 日頃の道路・河川パトロールにて異常箇所の有無を把握するとともに、災害発生時の報告ルールや調査体制の見直しを行った。<br>復旧工事にあたっては、効率的に復旧が進むよう他事業との発注調整を行い、業者負担軽減を図った。 |